

前へ！ 中津 前へ！！



大阪府立中津支援学校

ともに前へ！

特別支援教育に役立つ

実践事例等教材・教具集

3





もくじ

各教科・領域・自立活動等に役立つ教材・教具

1. 小学部の教材・教具

国語、せいかつ、算数、図画工作、家庭、自立活動 等…………… P4

2. 中学部の教材・教具

国語、数学、音楽、外国語、自立活動 等…………… P39

3. 高等部の教材・教具

国語、数学、社会、家庭、自立活動、職業、特別活動 等…………… P45

活動実践事例

スパイダー（重力軽減環境訓練システム）…………… P62

カニューレ抜去シミュレーション…………… P63

研修資料 等

同和問題について…………… P65

ヤングケアラーについて…………… P69

防災： 図上訓練報告資料…………… P73

令和4年度 地域支援委員会 活動報告…………… P75


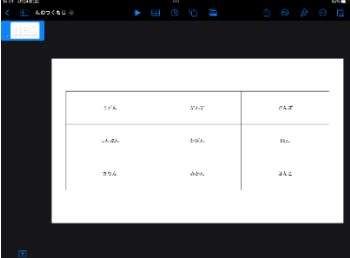



各教科・領域・自立活動等に
役立つ教材・教具



【教材・教具】国語


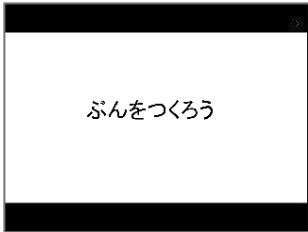




教科・領域	国語
名称	「ん」のつく文字
写真 使用方法	<p>① 「ん」のつく単語のイラストをモニターに映して見せる。</p>  <p>② 各自に「airdrop」を使って送信した表の中からそのイラストの単語を選び、描画モードにして指先で○を書く。</p>  <p>③ 指導者がそれぞれの回答を確認した後、丸を消す。</p>  <p>④ 以上の手順を繰り返す。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ
素材・作り方等	iPad アプリ「Keynote」
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● タブレットを使えるということで、週末の疲れなどで文字カードや文字ブロックでは集中が続かないときでも集中力を高めることができた。 ● 「keynote」で単語表を送信し、描画モードにすると指先で書きこむことができるので、筆記具で書くことが難しい児童でも、楽しんで取り組むことができた。丸が書けなくても、触れて色を付けるだけでもいいので、麻痺がある児童には取り組みやすかった。 ● 次年度からは、新しい電子黒板で一度にたくさんの画面表示ができるようになるので、一斉に映して答え合わせができるようになる。
保管場所 又は所有者	本校 小学部 GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】国語

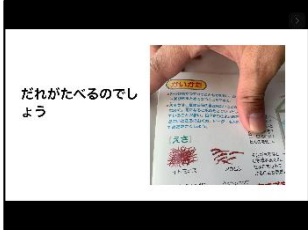

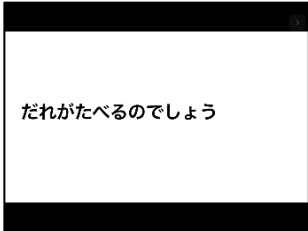


教科・領域	国語
名称	文を作ろう
写真 使用方法	<p>①絵本『町たんけん はたらく人みつけた』を読み、それを基に短文を考える。</p> <p>②発表したい文に対するイラストを写真で撮り、アプリ「スライド」に載せる。</p>  <p>③写真にあった文を作り入力する。</p>    <p>④完成したスライドを友だちの前で発表する。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ
素材・作り方等	iPad アプリ「Google スライド」
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● ただ絵本を見て文を考えるという内容でも、「Google スライド」にまとめるとタブレット端末一つで発表し友だちと共有することができた。 ● ひらがなの書き取りに時間がかかる児童でも、キーボード内からひらがなを選ぶことで文字入力することができた。 ● Google スライドは機能がたくさん視界に入ることもあるのか、本グループの児童のみでは手順を覚えにくかった。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】国語



教科・領域	国語
名称	「だれが たべるのでしょうか」
写真 使用方法	<p>①国語教科書「だれがたべたのでしょうか」を読み、内容理解を深める。</p> <p>②生き物のえさ等を図書室の本で調べる。</p> <p>③えさと生き物の写真を撮り、アプリ「keynote」に載せる。</p> <p>④写真にあった文を入力する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>⑤完成したスライドを基に、発表の練習をする。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;">⑥スライドをクイズ形式で発表する。</div> </div>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ
素材・作り方等	iPad アプリ「Keynote」
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 調べ学習と発表に焦点を当てて取組んだ。 ● 画面表示がシンプルで、1 度指導者と共に作ると児童も作り方を覚えて作成できた。 ● 表示文に漢字が多く、児童が読んで理解するのは難しかったためイラストやマークを頼りに指導した。 ● 発表の際には、一度画面に触れるだけで次のページへいくため操作が簡単で、発表に集中することができた。 ● クイズ形式にすることで、聞いている側とのやりとりも楽しめた。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】国語



教科・領域	国語
名称	ルーレットアプリの使用
写真 使用方法	<div data-bbox="427 589 699 857" data-label="Image"></div> <div data-bbox="722 589 1002 857" data-label="Image"></div> <div data-bbox="1026 589 1385 857" data-label="Image"></div> <p data-bbox="427 862 1436 1008">① ルーレットで決めたい事柄・内容を入力設定しておく。 ② ルーレット画面をタッチすると楽しい音楽と一緒に、当たった事柄・内容の色分けされた名称が表示される。</p> <div data-bbox="427 1070 783 1339" data-label="Image"></div> <p data-bbox="427 1344 837 1377">画面にタッチし注視している様子</p> <div data-bbox="922 1070 1353 1339" data-label="Image"></div> <p data-bbox="922 1344 1428 1377">手探りしながら画面をタッチしている様子</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
素材・作り方等	iPad アプリ「Roulette」
使ってみて (効果・反省等)	<p data-bbox="427 1624 1420 1691">朝の会などで GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad に触れる機会を設けているので、国語の授業導入段階でも活用できるのではないかと考えた。</p> <p data-bbox="427 1697 1420 1881">型はめパズルのピースを選ぶ前の段階で楽しくパズルのピースを決めることで、型はめパズルの活動の導入に使用した。パネルに直接触れてルーレットを止めるのには触り方にコツが必要だったので、どの児童も何回もやり直して止めることができた。自分が押した画面をよく見て、鳴る音楽も聞いていた。2 回目画面を見せると、ピースを選ぶことを期待する児童も 2、3 人いた。</p>
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad

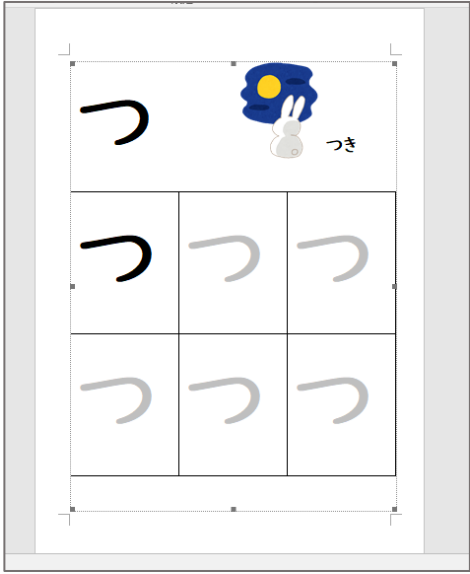


【教材・教具】かず・ことば（ことば①）

教科・領域	かず・ことば（ことば①）
名称	線をなぞる
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1 年、C 低グループ
素材・作り方等	運筆の練習。 第 1 段階として、短い直線をなぞる。 次に、短い曲線を取り入れ、円に進めた。数字やひらがなに移行できるように、 いろんな曲線やジグザグの線の練習プリントを作成した。
使ってみて (効果・反省等)	毎日 1 枚はなぞりのプリントを行った。 このプリントでも、繰り返しの成果が見られ、点線からはみ出ることも少なくなり、よく見て、丁寧に線を書けるようになってきた。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】かず・ことば（ことば②）

教科・領域	かず・ことば（ことば②）
名称	ひらがな（1画）の練習
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	小学部1年、C低グループ
素材・作り方等	1画のひらがな（つ・し・く）の練習のプリント。 なぞりプリントがしっかりできるようになってから、少しずつひらがなを練習するように作成した。 挿絵を入れることで語彙を増やすねらいもある。
使ってみて （効果・反省等）	マスのおきさもちょうどよく、丁寧に書けるようになってきた。 1文字ずつ発音しながら書くことができた。
保管場所 又は所有者	本校 小学部

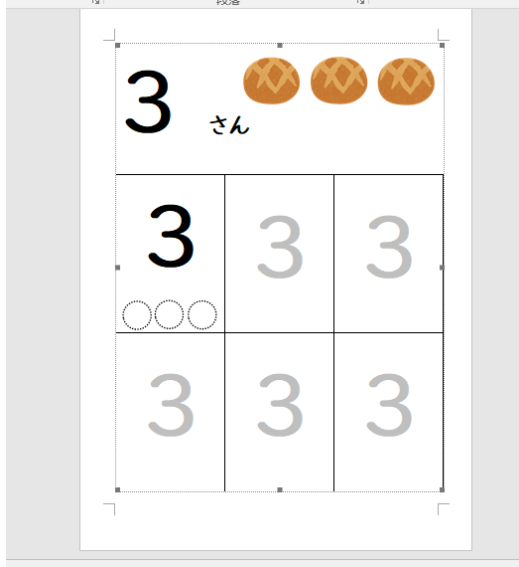


【教材・教具】かず・ことば（かず①）

教科・領域	かず・ことば（かず①）
名称	4までのかずの理解
写真 使用方法	<p>かずをかぞえて、シールをはりましょう。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1 年、C 低グループ
素材・作り方等	<p>具体物の数だけシールを○に貼る。 2 までのかず、3 までのかずの理解と段階的に進めた。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<p>1 と 2 の違いを理解するのにかなりの時間がかかったが、そこを理解できると 3 までのかずはスムーズに理解できた。 具体物と○に貼るシールのかずが同じであると繰り返し学習した。 語彙を増やすために、具体物の名前を発声させた。</p>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】かず・ことば（かず②）

教科・領域	かず・ことば（かず②）
名称	すうじの練習
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1 年、C 低グループ
素材・作り方等	数字の練習のためのプリント。 1 から順に進めた。 1 人では、まだ書けないため、なぞりの形態にした
使ってみて (効果・反省等)	線のなぞりの練習をくり返し行い、丁寧にできるようになってから数字の 1 の練習を始めた。 毎日、必ず書字のプリント学習をおこなうので、いろいろな種類のプリントが必要になり、そのうちの 1 種類である。 挿絵の単語を発声することで、語彙を豊かにすることもねらいである。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】国語（みるきくつたえる）

教科・領域	国語（みる・きく・つたえる）
名称	型はめパズル ～お弁当を作ろう！～
写真 使用方法	 <p>①の状態でラミネートを外して、穴の形だけでマッチングすることも可能。②の状態がすべての型にピースを埋めた状態である。まずは③の状態におにぎりのラミネートを嵌め、児童に提示。型穴は1つ空いた状態からマッチングをスタートさせる。他の型穴はふさいであるので入れられないようにしてある。④のようにできるようになったら、型穴を2つ開けてピースを提示し、2つの型穴とピースの形や色などでマッチングを進めていく。ピースを児童に選択させる機会も設けた。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	実物に近いものを、穴の形や色を参考にマッチングする段階にある児童
素材・作り方等	段ボール箱、紙皿、スポンジ、タオル地、綿、フェルト、正方形の箱、色画用紙、ラミネートフィルム、色ガムテープ
使ってみて (効果・反省等)	児童の状態が様々なので、型穴をあける数や、入れるピースの選択肢が児童に合わせて調整できてとても良かった。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 せいかつ



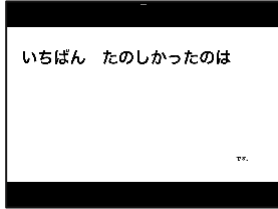


教科・領域	せいかつ
名称	授業進行スライド、作物の成長動画
写真 使用方法	<p>【調理実習】</p>   <p>【交通ルール】</p>  <p>【作物成長動画】</p>   <p>成長の様子を写真におさめた。変化が大きく分かりやすい写真をつなげ動画にした。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 低グループ
素材・作り方等	iPad アプリ「Keynote」
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「調理の工程」、「信号の点滅や車両の動き」を動画で見ることで、調理の一部を体験する際や、教室で横断歩道を渡る体験をする際にイメージが付きやすいようであった。 ● 成長動画をみて、「なんか（芽）出てきた」「長ーい」「大きくなった」と変化に気づいた発言があった。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】生活

ICT

教科・領域	生活
名称	1年間を振り返ろう
写真 使用方法	   <p>⑤ 行事ごとに自分たちの写真が入ったスライドを見て、一番楽しかった行事を選ぶ。</p> <p>⑥ 選んだ行事の写真と、作成発表フォームを「AirDrop」を使用して各自に送信する。</p> <p>⑦ 「Ketnote」を使用して送られた写真とフォームを使い、発表資料を作成する。（フォームに写真を貼り付ける）</p> <p>④作成した資料をモニターに映し、発表する。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ
素材・作り方等	iPad アプリ「Keynote」
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「keynote」に自分たちが映った写真を取り込んでスライドを作成したことで、行事を思い出したり、頑張ったことや楽しかったことを話したりしていた。思い出がよみがえり、細かいことを思い出している児童もいた。 ● すぐに選んだ写真を送信したことで、楽しかったことを思いだしたまま、資料作成することができ、作成意欲が高まった。フォームも送信したことで、作成が簡単になった。写真取り込みの方法を聞き、すぐに取り込もうとしていた。 ● 作った資料をテレビに映したことで、発表が苦手な児童も写真が手掛かりとなったり、楽しかった思いが支えになったりして、笑顔で発表ができた。 ● 描画モードも取り入れると、ペンや指先を使って自分でイラストや文字を記入でき、さらに自分らしい発表資料を作ることができるようになる。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1人1台端末 iPad



【教材・教具】生活（家庭）



教科・領域	生活（家庭）
名称	「買い物名人になろう」
写真 使用方法	<p>① 行くお店を iPad アプリ「DropTap」を使用して選び、発表する。</p>   <p>② 店で買いたいものを「DropTap」を使用して選び、発表する。 発表の際には、大型モニターにミラーリングして映しておく。</p>     <p>③ 買い物の練習をする。 ④ 実際に、自分たちで決めたお店に、自分たちで決めたものを買に行く。 ⑤ 買ったものを食べる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ
素材・作り方等	iPad アプリ「DropTap」
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「DropTap」を使用することで、選択肢が明確で児童にとって選択がしやすかった。画面に触るのみで意思表示ができるため、発音不明瞭の児童であってもみんなにわかりやすく意見を伝えることができた。 ● その場で意思表示をすることはできるが、画面が消えてしまうと記録に残らないため、スクリーンショットで残した。 ● 大勢の前で発表すると緊張してしまう児童も、自分で話さなくてもできるため、抵抗なく発表できた。 ● 「DropTap」と大型テレビとのミラーリングという内容を繰り返し行ったため、児童もやり方を覚えることができた。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad





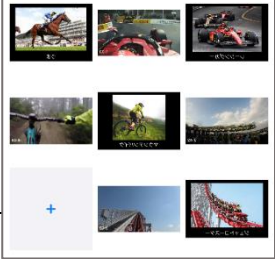

【教材・教具】からだ・体育

教科・領域	からだ・体育
名称	手洗い
写真 使用方法	  <p>電子黒板を使い、上のイラスト等で手洗いの大切さについての話をした。</p>   <p>説明後に実際の手洗い練習場面で手の甲や手の平など児童によって「おててポン」を押す場所を決め、練習を行った。洗う時や流水で流す時にみんなで15秒数えて取組んだ。その後、みんなに手を見せ確認をしながら取組んだ。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1～6年生、C低・C高グループ
素材・作り方等	おててポン（メーカー：シャチハタ株式会社）
使ってみて （効果・反省等）	普段手洗いの時に、手を濡らし、泡を付けられるが、手をこすらずにすぐに流してしまう児童や水が冷たく洗いたがらない児童などに、まずは電子黒板を使って、手洗いの大切さの話をした。その後、実際の手洗い練習場面で「おててポン」を押すとしっかりと手をこすり消そうと取組めた。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 体育



教科・領域	体育、自立活動、特別活動	
名称	VR 風セラピーボール・アクティビティ	
写真 使用方法	<p>ピーナツ型セラピーボールに跨り、前方のスクリーンにプロジェクターで上映された各種乗り物の『主観』視点の映像動画に合わせて、上下に弾む、左右に傾くなどして疑似体験を楽しみながら、姿勢変換や体重移動などを学習する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【動画コンテンツ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ジェットコースター（ライド動画） ● レーシングカー（車載映像） ● 馬（ライド動画） ● マウンテンバイク（車載映像） <div style="text-align: right;">  </div>	
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1 年生	
素材・作り方等	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 短焦点プロジェクター ● 動画コンテンツ（YouTube から収集） ● ピーナツ型セラピーボール 	
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来から、ピーナツ型セラピーボールを使った運動を、バスや乗馬などのごっこあそびや見立てあそびを通して行う方法があった。暗室と大型スクリーン、プロジェクターを用いることで、さらに没入感を高めることができる。 ● どの児童も画面を注目して、乗り物に乗ったような気分になって、揺れや姿勢変換を楽しみながら運動することができていた。 ● 近年では VR ゴーグルを用いた実践事例も各地で発表されているが、本実践では、学校既存の機器でできることと、専用コンテンツが不要でインターネット上で素材収集できるという手軽さがある。また、VR ゴーグルとは異なり、怖かったらスクリーンから目をそらす余地があるということが、小学部低学年期の児童には、むしろ心理的にも適切であるように感じた。 	
保管場所 又は所有者	<ul style="list-style-type: none"> ● 短焦点プロジェクター（視聴覚室保管） ● 動画コンテンツ再生用端末（iPad、私物） ● ピーナツ型セラピーボール（小学部） 	




【教材・教具】 図画工作



教科・領域	図画工作
名称	視覚支援教材
写真 使用方法	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>「とんぼをつくろう」</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>「くりをつくろう」</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>「オリエンテーション」</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>「ねんどであそぼう」</p>  </div> </div>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1～3年、C低グループ
素材・作り方等	見本を作りながら写真を撮り、iPad アプリ「Keynote」で制作の手順を示すスライドショーを作る。
使ってみて (効果・反省等)	見本を大画面で確認することができ、一斉指導を行いやすい。
保管場所 又は所有者	本校 小学部




【教材・教具】ふれる・えがく

教科・領域	ふれる・えがく
名称	消しゴムはんこ
写真 使用方法	 <p>持ち手を握って、普通のハンコのようにスタンプ台につけて押す。 布用スタンプ台につけることでバンダナに模様をつけて、修学旅行におそろいの色と柄で行くことができた。 “なつにつどい”の店のスタンプにも活用することができた。 他学年がシールの中、世界に一つだけのスタンプを押すことができた。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部6年生、AB高グループ
素材・作り方等	消しゴムに写し絵の紙で柄をつけてデザインナイフで彫る。 彫ったものに子どもが握りやすいように紙粘土で持ち手を作ってくっつける。
使ってみて (効果・反省等)	子どもが手元を見てはんこを押すことができた。 もう少し大きいとより見やすく使いやすいのではないかと思う。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想1人1台端末 iPad



【教材・教具】家庭

教科・領域	家庭
名称	ぷるぷる石鹸
写真 使用方法	 <p><特徴></p> <ul style="list-style-type: none">ゼリーのようなプルプルした手触りの石鹸冷蔵庫で冷やして固めるため、使う際はひんやり。(室温が高いところに長く置いておくと溶けてくるので、夏場であれば使うまで冷蔵庫に入れておくのが良い。)
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 高グループ
素材・作り方等	<p><材料> (一人分 石鹸3個分程度)</p> <ul style="list-style-type: none">ゼラチン 5g ・お湯 (80℃以上) 50cc ・水 100ccボディソープ (今回はフレッシュ系 or フローラル系の2種の香り) 50cc食紅 ・透明カップ ・ジップロック <p><作り方></p> <ol style="list-style-type: none">(1) ゼラチンをお湯に入れて溶かしたものに水を加えてよく混ぜる。(2) 好きな香りのボディソープを加えて混ぜる。(3) 好きな色の食紅を加えて混ぜる。(4) 液体を、透明カップに分け入れる。(5) 冷やしてできあがり <p>※ (1)～(3)の混ぜ方は、児童の課題に合わせて設定。今回の授業では、チャック付き袋に材料をいれて混ぜた。“もむ”、“おす”、“にぎる”など、児童にさせたい動き、または得意な動きで混ぜることができるよう、言葉かけや袋を持つ支援を行った。香り選びは、嗅ぎ比べて表情等で好みを伝えて決めた。</p>

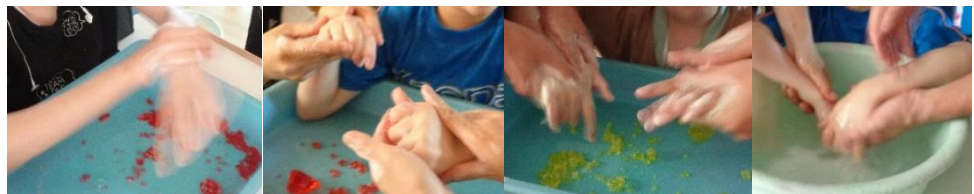
～後日、固まった石鹸を使ってみた様子～

- できあがった石鹸の感触を楽しむ…つるつる滑るがつかもうと何度もチャレンジする。手をたくさん動かしてゼリーを崩す感触を味わう。指先でなでて感触を確かめる。ぷるぷるした石鹸を手のにせてもらい笑顔になる。「そっと」「やさしくね」の言葉かけで、そっと扱うことができる。など、児童それぞれの反応がみられた。



使ってみて
(効果・反省等)

- 泡立てて感触や香りを楽しむ…自分でたくさん触って泡がたつ。真似て手をこすり合わせる。一緒に泡立てマッサージしてもらいリラックスする。教師にマッサージしてもらうことでやり方が分かり、自分でも腕をさする。触れることに敏感な児童が泡やマッサージを受け入れる。等、笑顔やリラックスする様子が見られた。





【教材・教具】家庭



教科・領域	家庭
名称	防災ランタン
写真 使用方法	<p>懐中電灯やタッチライトなど、そのまま点けると明かりが強すぎてまぶしく照射範囲も狭いが、水入りのペットボトルをのせることで光が拡散し、やわらかく部屋をともし明りになる。(100円均一ショップのライトを防災グッズに入れておけば、災害等で停電が続くとき、水入りペットボトルをのせて簡単にランタンが作ることができる。)</p> <p>ペットボトルに直接マジックでお絵かきするのは難易度が高いので、iPadで模様を描いた紙を、カバーとして作成した。</p>  
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 高グループ
素材・作り方等	<p><使用したもの></p> <ul style="list-style-type: none"> ・iPad 無料アプリ「キラキラお絵かき」 ・A4 コピー用紙 (白、うす桃色など) ・プリンター ・100円均一ショップのタッチライト ・水入りのペットボトル (500ml サイズ) <p>※「キラキラお絵かき」は、描くたびにピコピコ！キラキラ！などかわいい音が鳴る、目と耳で楽しめるお絵かきアプリ。 虹色のペンやきれいなスタンプが選べ、背景は白と黒がある。</p>   


	<p><手順></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. iPad アプリ「キラキラお絵かき」で模様を描く。 2. お絵かきできた児童から、順次 A4 用紙に印刷。 3. 印刷した紙を筒状に丸め、水入りペットボトルと共にタッチライトの上に置く。
<p>使ってみて (効果・反省等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● iPad の設定で「アクセスガイド」をオンにしておき、アプリを使用する際にホームボタンまたはサイドボタンをトリプルクリック（3 回押す）してアクセスガイドを開始させると、お絵かきに集中できる。（ほかの画面に切り替わってしまうことを防ぐ。） ● ライトを灯すと、みなよく見ていた。背景を白にした場合、ほんのり全体が明るく照らされる。背景を濃色にした場合は、模様がはっきり浮かび上がる。





【教材・教具】 道徳



教科・領域	道徳
名称	「だいじな おはなし」(性教育)
写真 使用方法	 <p>① iPad アプリ「keynote」を使って、男女のちがい、体の清潔、プライベートゾーン、約束事等の入ったスライドを作成する。</p> <p>② スライドを見ている途中で、人形を使って実際に動作をやって見せたり、絵本を読み聞かせたりする。</p> <p>③ 実際に逃げる練習として、「やめて」という練習をする。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad アプリ「keynote」 ・ 性教育いらすと (無料素材サイト) ・ 無料イラストサイト ・ 性教育を扱った絵本 ・ 人形
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「keynote」を使用し、大事な約束事 (人前で大きな声で話さない、人前では触らない、プライベートゾーンは見せない・触らせない・人前で触らない、逃げる、困ったら大人に相談する、診察や介助は構わない) を確認した。一度に全てを理解できなくても、後日習ったことを話して、「これはあかん」と言っていた。 ● 最後は「素敵な女の子になろう」という終わり方にして、こんなお姉さんになりたいと憧れを持てるようにした。成長を喜べるように取り組むとよい。 ● 定期的に繰り返し取り組み、大切なことを理解させ、できるだけ定着させたい。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】特別活動





ICT

教科・領域	特別活動
名称	iMovie (iPad アプリ) で自己紹介
写真 使用方法	 <ul style="list-style-type: none">● iPad アプリ「iMovie」に、児童が撮影した写真や動画を貼り付け、動画を作成する。● イラスト作成アプリ「ibis Paint」を使用して描いたイラストも適宜使用する。● 写真や動画の説明をテロップで入力する。● テロップの内容を読み上げ、録音する。● 必要に応じて BGM を挿入する。
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 高グループ (5年生)
素材・作り方等	
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none">● iMovie を使用したことのない児童だったが、作業を細かく分けて指導することにより、自分で考えながら動画を作成することができた。● 作成しながら都度、動画を再生して見返すことで、少しずつ作業が進んでいることが実感でき達成感にも繋がった。● 今後は、動画の構成を児童自身が考えられたり、効果を入れたりしてより
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】 自立活動





教科・領域	自立活動
名称	iPad アプリ「ごじゅーおん」
写真 使用方法	    <p>発語が難しい児童や発音が不明瞭な児童のコミュニケーションツールとして活用する。入力後に読み上げ機能もあるため相手に伝えることや確認することができる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 6 年、C 高グループ（発語が不明瞭な児童）
素材・作り方等	iPad アプリ「ごじゅーおん」
使ってみて (効果・反省等)	発語が不明瞭な児童とともに日常的なあいさつの入力を行った。入力後に読み上げ機能を使ったときに、一文字抜けていたり、間違っていたりした場合に確認すると児童にとっては正しいと思っていることが多くあった。今後に向けて伝わりにくさを解決するために 50 音表の練習で活用したが、児童が普段どのように聞こえていて、発しているかを確認する良い機会となった。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】 自立活動



教科・領域	自立活動
名称	情報モラル
写真 使用方法	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>ほかのひとに おしえない</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>しゃしん イラスト おんがく どうが</p>  </div> </div> <p>小学部低学年で、ある程度 1 人でタブレット端末を操作できる児童向けに作成した。</p> <p>情報モラル教育の導入段階として身近に起きるトラブルを考え「パスワードの管理」と「著作権・肖像権」の 2 点について例を交えながら Powerpoint でスライドを作成し、指導に使用した。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 2 年、C 低グループ
素材・作り方等	Microsoft Powerpoint で作成
使ってみて (効果・反省等)	<p>実際に授業で使用者 Powerpoint では、人物イラストを本児の写真に変えることで、児童自身が自分の話として聞くことができた。</p> <p>例の後に、どういう行動をとればよかったのかの設問を作ることで自ら考え発言していた。</p> <p>各テーマを 1 回ずつ授業した。まだ、定着はしていないようなので繰り返しの指導が必要。家庭に個人で使えるタブレット端末やゲーム機を所持していないので 1 人 1 台端末 iPad を使用する際に継続した指導が必要。</p> <p>学年が上がっていくにつれ、情報モラルについて段階を追っての指導が必要。</p>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 自立活動



ICT

教科・領域	自立活動
名称	「どこに行きますか？」(視覚支援教材)
写真 使用方法	 <p>今まで行きたい場所をカードで選んでいた児童が、タブレット端末を使って行先を選ぶことができるように作った。 提示されている画像を見て、タップするというものである。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 高グループ
素材・作り方等	iPad アプリ「Keynote」
使ってみて (効果・反省等)	もっと使用しやすいように改良する余地がある。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1人1台端末 iPad



【教材・教具】 自立活動



教科・領域	朝の会
名称	スイッチを活用した進行
写真 使用方法	   
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ
素材・作り方等	iPad、マウス、スイッチ iPad アプリは Droptap を使用
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声の手段として活用できる。 ● 重度肢体不自由児でも、スイッチに触れて音声を出すことで当番として進行をすすめることができる。 ● 他の児童たちにも当番を認識することができる
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 自立活動



教科・領域	課題活動
名称	クイズ「せんせいのなまえ」
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 1～3年、C低グループ
素材・作り方等	<ol style="list-style-type: none"> ① アプリ「Kahoot」を端末にダウンロードする。(児童生徒のひとり1台端末にも無料でダウンロード可能) ② 好きなテーマで写真や文字を用いたクイズを作成する。(無料版では2～4択問題、○×問題の作成可能) ③ 作成したクイズはシングルプレイのほか、データを共有して複数の端末で同時に回答することもできる。 <p>※ クイズ自体を他のユーザーに配付し、受け取ったユーザーが編集を行うこともできる。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 正誤のフィードバックを音や表示で即時に受けることができるが、児童によってはわかりにくい場合がある。 ● 児童の実態や授業の進度に応じて随時内容の編集ができた。
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 自立活動





教科・領域	課題活動
名称	スイッチ端子つきマウス
写真 使用方法	 <p>児童・生徒が操作しやすいスイッチを繋げて操作する。 ビッグスイッチや、棒スイッチなどの補助スイッチを使って、ICT 関連のパソコンやタブレット端末を利用するために、効果的な教具として作成した。既製品は高額であり、簡単な部品と改造スキルがあれば安価に準備できるものとして取り組んだ。またギガスクールサバイバルのための試作品としての面もあった。作成した bluetooth マウスについては本校の酒巻先生に提供し、日々の学習活動に活用いただいている。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB グループ他
素材・作り方等	<p>スイッチ操作できるように分解・改造し、各種スイッチを繋げることのできる端子（モノラルミニ端子）を増設する。</p> <p>必要な物： 半田ごて、半田線、モノラルミニ端子、ケーブル、各種工具</p> <p>本校の自主研修会「ギガスクールサバイバル第七回」において、希望者に制作の研修を行い、7名の受講者全員が、完成させることができた。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<p>iPad タッチャーを使わずにタブレット端末にスイッチで操作できるようになった。その他、タブレット端末をスイッチ操作できることになり、スイッチ操作による因果関係の理解につながる学習ができる。</p> <p>また、スイッチ端子を増設する研修(ギガスクールサバイバル第七回)を行ったことで、教員のスキルアップにもつながり、授業等で活用させるケースが増えてきた。</p>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】 自立活動


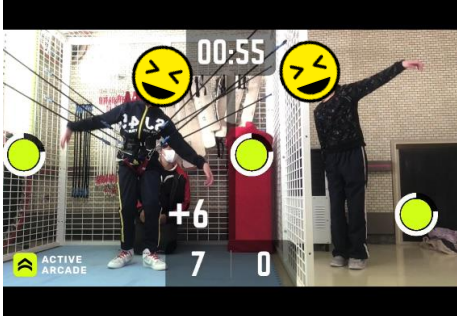
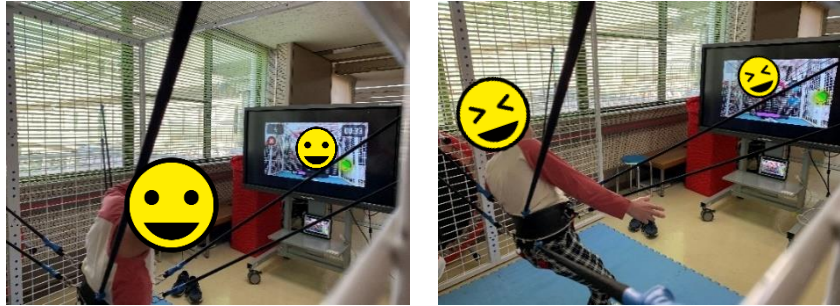



教科・領域	自立活動	
名称	ディスコライト & ミュージック (光と音の因果関係を理解するスイッチ教材)	
写真 使用方法	<p>【ルール】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スイッチを押すと、ディスコライトが点灯し、音楽が流れる ② (指導者が) ライトと音楽を途中で予告なく停止する ③ ライトが消え、音楽が止まったことに気づき、スイッチを押す <p>【使用方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ディスコライトと『ウゴキング』(AC スイッチアダプター) を組み合わせることで、児童生徒が使い慣れたスイッチで点灯できるようにする。 ● 音楽再生に使うスマートフォンまたはタブレットを Bluetooth スピーカーに接続する。 ● 児童生徒がスイッチを入力して、ライトが点灯/消灯するのに合わせて、音楽を再生/停止する。 	 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ	
素材・作り方等	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホームパーティー用ディスコライト ● 『ウゴキング』(AC スイッチアダプター) ● 音楽配信アプリや音楽データのついたスマートフォン・タブレット ● Bluetooth スピーカー 	
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 光源を意識しやすいように教室に暗幕を用い、照明を消して実施した。暗い中でもスイッチを認識しやすくするために、蓄光テープを貼ったスイッチを用いた。 ● Bluetooth スピーカーを用いることで、ディスコライトの傍に設置して音楽再生することで光源と音源を一致させ、注意を向けやすくすることができた。 ● 繰り返し取り組む中で、どの児童も音と光の因果関係を理解してスイッチ操作を行うことができた。スイッチを設置したテーブルに自分で移動して押す活動にも取り組むことができ、移動・運動面へのアプローチも行うことができた。 	
保管場所 又は所有者	<ul style="list-style-type: none"> ● ホームパーティー用ディスコライト (小学部教材：窯業室) ● ウゴキング AC スイッチアダプター (各学部 1 台ずつ保管) ● Bluetooth スピーカー (各学部・グループ) ● 音楽配信アプリ、音楽データ (私物) 	



【教材・教具】 自立活動



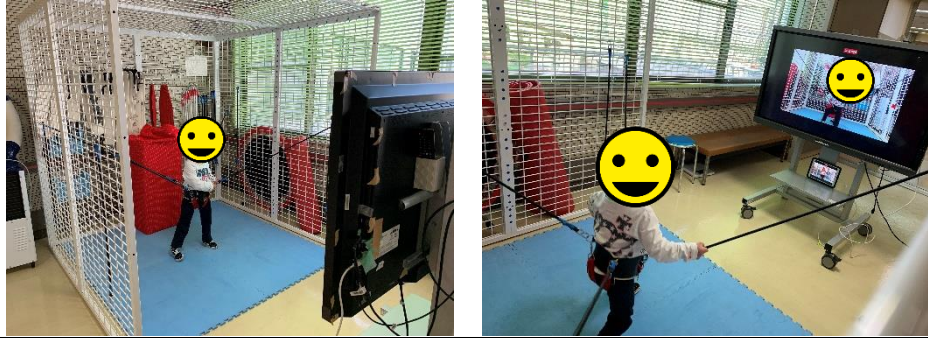
教科・領域	自立活動、課題学習
名称	GIGA スクール iPad × スパイダーシステム (AR フィットネスゲームアプリと電子黒板を用いて)
写真 使用方法	<p>スパイダーシステムで安定した姿勢をつくった状態で、電子黒板にミラーリングした iPad アプリ『Active Arcade』をプレイする。 児童生徒はゲーム画面に映っている自身の姿や動きを認識しながら、画面上に表示されるターゲットに手足を伸ばす運動に取り組む。</p>   <p>ゲームの得点を記録したり、リプレイ動画を写真アプリ等へ書き出したりすることで、活動の振り返りを行う</p> 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 C 低・高グループ、中学部・高等部 FG グループ
素材・作り方等	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一人一台端末 (GIGA スクール iPad) ● アプリ『Active Arcade』 (AR 拡張現実のフィットネスゲームアプリ) ● 電子黒板 ● Lightning AV アダプター または Apple TV 

<p>使ってみて (効果・反省等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スパイダーシステムを用いることで、児童生徒は指導者の介助から離れて「自分自身で」ゲームをプレイする実感を持って活動することができた。指導者にとっても、児童生徒の活動自体に注意を向けることができた。 ● 転倒の恐れがないため、体幹から離れた左右のターゲットにも身体を傾けて思い切って手を伸ばすことができる。立位や独歩可の児童生徒にとっても、安心して左右に足を踏み込めるなど、ボディイメージを育てることができた。 ● ターゲットに触れた成果が得点として表示される他、ゲーム画面を動画記録する機能があり、児童生徒自身や指導者が活動の記録や履歴を後で振り返ることができる。取り組み回数を重ねるごとに、より思い切った動きが引き出されて、ゲームルールの理解も伴って、得点にも反映されていった。 ● 一人一台端末を用いることで、当該の児童生徒のデータのみを残すことができる。 ● ある程度の（自身を客観的に認知できる）発達段階の児童生徒でないと活用は難しい。
<p>保管場所 又は所有者</p>	<p>GIGA スクール iPad 充電保管庫、ICT 支援機器貸出口ッカー、各学部管理の電子黒板</p>



【教材・教具】 自立活動




教科・領域	自立活動、課題学習
名称	GIGA スクール iPad × スパイダーシステム (カメラアプリと電子黒板を用いて)
写真 使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ● スパイダーシステムを用いた活動を、iPad の『カメラ』アプリで動画撮影する。 ● 動画撮影中画面を電子黒板にミラーリングすることで、電子黒板を姿見鏡のように使用する。 ● 児童生徒は画面に映っている自身の姿や動きを認識しながら、スパイダーシステムで普段取り組んでいる身体運動に取り組む。 ● 写真アプリに保存された動画を再生し、電子黒板で提示することで活動の振り返りを行う。 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低・高グループ (中学部・高等部 DE グループ)
素材・作り方等	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 一人一台端末 (GIGA スクール iPad) ● 標準カメラアプリ ● 電子黒板 ● Lightning AV アダプター または Apple TV
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 別頁の事例である AR ゲームアプリ『Active Arcade』のプレイが認知的に難しい児童生徒でも、標準のカメラアプリに切り替えて iPad のインカメラで動画撮影をすることで、活動記録をつけることができました。 ● 大画面を前にした児童生徒は、大きな姿見鏡を前にするように、画面に自分の姿が映っていることに気づいて注視し、自分の姿勢や動きを確かめるように動くことができていた。 ● カメラアプリの録画時間表示が、時計代わりに使用することができたのも非常に便利であった。 ● 一人一台端末を用いることで、当該の児童生徒のデータのみを残すことができる。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール iPad 充電保管庫、ICT 支援機器貸出口ッカー、各学部管理の電子黒板



【教材・教具】 自立活動


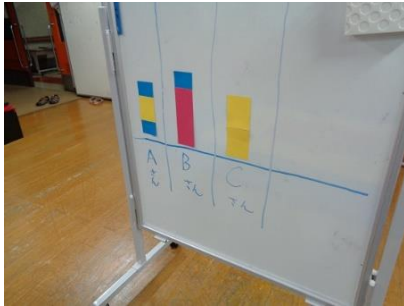
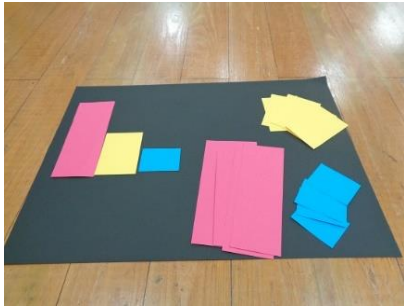
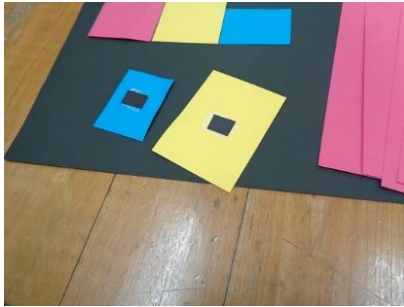


教科・領域	自立活動、特別活動
名称	シャボン玉マシン × MaBeee (シャボン玉を活用した因果関係を理解するスイッチ教材)
写真 使用方法	<p>【ルール】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スイッチを押すとマシンが動き、シャボン玉が発生する ② (指導者が)シャボン玉マシンを途中で予告なく停止する ③ シャボン玉が止まったことに気づき、スイッチを押す    <p>【使用方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池駆動のシャボン玉マシンと IoT 乾電池『MaBeee』を組み合わせることで、iPad でシャボン玉マシンの操作ができるようにする。 ● 児童生徒が使い慣れたスイッチやスイッチインターフェイス (フックプラスやスイッチ改造 Bluetooth マウスなど) を組み合わせることで、操作や因果関係の理解がしやすい環境をつくる。 
対象児童生徒 学年・グループ	小学部 AB 低グループ

<p>素材・作り方等</p>	<p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● シャボン玉マシン（玩具） ● IoT 乾電池『MaBeee』 ● GIGA スクール iPad ● アプリ『MaBeee コントロール』 ● スイッチ・スイッチインターフェイス（フックプラス、スイッチ改造 Bluetooth マウス、i+Pad タッチャー） 	
<p>使ってみて (効果・反省等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● マシンとスイッチ周辺機器をワイヤレスで接続できることで、教材の設置に関して自由度が増し、便利だった。 ● 繰り返し取り組む中で、どの児童もスイッチ入力とシャボン玉の因果関係を理解して操作を行うことができた。スイッチを設置したテーブルに自分で移動して押す活動にも取り組むことができ、移動・運動面へのアプローチも行うことができた。 ● 行事や劇あそびなどにおける演出にも利用でき、児童生徒が役割をもって活動する場を設定することもできる。 	
<p>保管場所 又は所有者</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● シャボン玉マシン『バブルエッグスプロードー』（小学部教材：AB 低グループ） ● IoT 乾電池『MaBeee』（情報教育部：ICT 貸出口ッカー） ● GIGA スクール iPad（一人一台端末充電保管庫） ● スイッチ・スイッチインターフェイス『フックプラス』（情報教育部：ICT 貸出口ッカー） 	



【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動、体育（からだ）
名称	カラーボッチャ（仮）
写真 使用方法	   
対象児童生徒 学年・グループ	量的概念の獲得段階にある児童・生徒
素材・作り方等	色画用紙、テープ、ブルーシート、マグネットシート
使ってみて (効果・反省等)	<p>本校のボッチャの取り組みでは、数字の記されたシートにボールを転がし、点数を得る形で行われていることが主流で、スポーツの集いでも同様の形で実施されている。AB 高グループの児童の実態としては、数字による量の概念の理解までは難しく、グループ内で最も理解が進んでいる児童でようやく数唱ができるかどうかというレベルである。本教材は自分の投げたボールの止まった位置の色に合わせて、色カードを得点として受け取り、ホワイトボードに貼ることで、自分のスコアが量的に見えることを目指して作成した。</p> <p>同時に、「どこに狙って投げればいいのか」ということも視覚的にわかりやすく、目と手の協応動作の向上にも役立つ教材として活用できればと考えている。投擲に関しては、自ら投げる、ランプを使うなど、ボッチャのボールや補助具をそのまま使用できるようにしている。</p>
保管場所 又は所有者	本校 小学部



【教材・教具】音楽



教科・領域	音楽
名称	iPad エレキギター
写真 使用方法	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="432 501 906 855"> </div> <div data-bbox="938 501 1417 855"> </div> </div> <p>図1) GarageBand の画面</p> <p>図2) アクセシビリティの設定画面</p> <ul style="list-style-type: none"> ● iPad アプリ『GarageBand』を使用。曲を予め教員が作っておき、生徒用 iPad に AirDrop で送信。曲に使用するコード（今回は、F, C, Bb）のみ音が出るように設定・表示させておく。コード以外の場所に触れても反応しないよう、アクセシビリティで誤作動防止の設定をしておく。 ● iPad 本体のスピーカーでは音が小さいため、Bluetooth スピーカーを接続し自分の演奏が合奏時に確実に聞こえるようにする。 ● 全体の合奏練習に入るまでに、個人練習として、曲に合わせて（GarageBand の演奏機能を活用）タイミングよく適宜コードをタップできるようにしておく。 <div data-bbox="1034 922 1422 1435"> </div>
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 FG グループ（小学部 3 段階～中学部 1 段階の生徒）
素材・作り方等	ギター本体： 段ボール等で形作り、塗装・装飾。iPad はカバーを外した状態でギターの中に入れる（入れる向きあり）。
使ってみて (効果・反省等)	<p>(効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● TV や動画等で見聞きし、憧れのある楽器（エレキギター等）を担当できたことが生徒のモチベーション向上に繋がり、主体的に授業に参加する姿勢がみられた。また、コード数（今回は3コード）は生徒の発達段階に応じて、増減できるため、汎用性が高いと考える。 ● GarageBand の操作方法を覚えれば、一人で音源に合わせて練習でき、自学自習が可能。 <p>(反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 演奏時、iPad の画面が見づらく、タップする位置をある程度覚えられるまで練習する必要がある。
保管場所 又は所有者	ギター本体：本校 中学部 iPad： GIGA スクール構想一人一台端末



【教材・教具】音楽




教科・領域	音楽
名称	iPad を使ったピアノ
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 FG グループ (小学部 3 段階～中学部 1 段階の生徒)
素材・作り方等	ギター本体： 段ボール等で形作り、塗装・装飾。iPad はカバーを外した状態でギターの中に入れる (入れる向きあり)。
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 練習では曲の途中で脇見していたが、本番は、ピアノの屋根 (透明) 越しに客席がよく見え緊張感が増し、演奏の終わりまで鍵盤に視線を集中できた。本生徒の好きなキャラクターの絵を、指で追って iPad でコード演奏ができた。 ● 磁石で開閉と固定を楽にしたことで、ピアノの天板を開け、突上棒で支え、屋根を折り返す操作を生徒ひとりでもできた。脚部を補強しピアノの揺れを抑えたことで、安心して鍵盤に腕をのせることができ、一人で立ち上がって挨拶をするところまでの実演ができた。
保管場所 又は所有者	ギター本体： 本校 中学部 iPad： GIGA スクール構想一人一台端末



【教材・教具】音楽


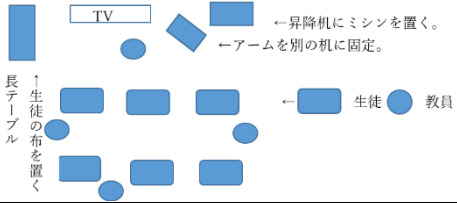


教科・領域	家庭
名称	授業内での iPad の活用
写真 使用方法	 <p>1学期に漬けた梅干しの夏休み中の変化の記録・振り返り。 夏休み前の作業を振り返り、2学期の授業につなげる。模造紙での手順表も生徒と一緒に作成し、併せて使用することで振り返りやすくした。 また、振り返りの際は、「どんな匂いがした?」「色はどう変わった?」「手にも色がついたね」など生徒が実習中気づいたことを言葉で問いかけることでより鮮明に思い出せるよう工夫した。 夏休み中の変化は、スライドと合わせて、言葉でも「色が濃くなってきましたね」「紫蘇の匂いがしました。」などと伝えるようにした。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 FG グループ
素材・作り方等	<p>Keynote。夏休み中の定期的な観察は難しいため、生徒がつけた梅干しを1週間に2回ほど写真を撮り、スライドを作成する。 塩漬けの時は背景に紺色の画用紙を敷き、塩の溶け具合が分かりやすいように工夫した。紫蘇を入れた後は赤く色づくため、白い画用紙を敷き、梅が赤く染まる様子が分かりやすくした。また、光の加減や温度差でビニールが曇ると中の梅の様子が伝わりにくいため、曇りを取ってから写真を撮るなど配慮した。2袋梅干しを漬けたので比較しやすいように、ページのレイアウトを統一し、同じ位置に写真を貼り付けた。 7月末の梅の写真と、現在の梅を比較しやすくした。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<p>Keynote のスライドは見てほしい部分を拡大しやすく、大きなスクリーンに映すことで、授業に参加している全員で同時に観察できた。意見を出しながら、画像で確認したり、過去の様子をすぐに提示できたりして便利であった。夏休みという長い休暇を挟んだが、梅干しの変化を観察することができた。Key note には生徒の作業の様子の写真は載せず、梅干しだけのシンプルな写真にすることでより梅干しの観察に集中できたと思う。 手書きの模造紙の手順表には、生徒の作業の様子を入れることで、より作業内容や様子をより鮮明に思いだしている様子であった。</p>
保管場所 又は所有者	本校 中学部



【教材・教具】家庭



教科・領域	家庭
名称	授業内での iPad の活用
写真 使用方法	 <p>iPad のカメラモードとタブレットを固定するアームを使い、教員の見本をスクリーンに映し、全員で手順を確認する。特にミシンは細部の説明をする際手元を映しボタンの位置などを確認するために使用。</p> <p>また、教員の人数や専門性の問題で、待っている生徒が多くなるため、生徒が作業をしている時他の生徒は作業の様子を確認しながら、順番を待つ。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 FG グループ
素材・作り方等	 <p>TV</p> <p>←昇降機にミシンを置く。</p> <p>←アームを別の机に固定。</p> <p>↑生徒の布を置く 長テーブル</p> <p>← 生徒 ● 教員</p>
使ってみて (効果・反省等)	<p>生徒に見てほしい部分を拡大し、大きなスクリーンに映すことで、授業に参加している全員で同時に確認できた。また、生徒はモニターから見られると意識することで、作業へのモチベーションを維持できている面もあった。iPad やモニターを使うことで生徒の注意をひきやすく、集中できる時間も長かった。</p> <p>また、生徒の手元には何も置かず、長テーブルに製作中の作品を置く、CR7・CR8をつなげ広く使う、席の並び順もTTと相談する、担当する生徒を固定する等工夫することで、教室がすっきりとし、落ち着いて活動できた。家庭科は2校時続けての授業であるが、生徒の集中できる時間を考慮して、ミシンの活動が長くならないよう、ほかの学習活動と組み合わせる等工夫して取組んだ。</p> <p>休み時間には教材を置いてあるエリアには来ないようにすることができ、安全にも配慮できた。</p> <p>1回目はミシンを置く机にアームを固定していたが、別の机につけたほうが、映したいところに調節しやすく、机の高さの変更、ミシンの移動でアームからタブレットが取れることもなかった。慣れるまでは、カメラの位置からずれた場所で見本を提示したりしたが、慣れるとそういったことも減った。</p>
保管場所 又は所有者	本校 中学部



【教材・教具】道徳



教科・領域	
名称	
写真 使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 進路見学、進路講話、校内実習の心構えと、将来を見据えて普段からしておくことについて、電子黒板に映して学習 <div data-bbox="432 595 1406 757"> </div> ● 日誌の書き方：日付けと行ったこと、感想を日誌に記入 <div data-bbox="432 831 1406 1196"> </div>
対象児童生徒 学年・グループ	<p>中学部 1～3年、FGグループ</p>
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> ● NHK for school の動画を活用して、Microsoft Powerpoint で作成。 ● 日誌：高等部の実習日誌を参考にして、Microsoft Word で作成。課題学習の時間等で使用し、日常生活での活動を題材として振り返りを行った。
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 中学生としての学校生活の心構えを、キャリア教育という意識で確認させることができた。「将来を見据えて今つけておくべき力は何か」という観点で、教員間でも共通理解を図ることができた。 ● 校内実習の見学や、進路見学でも、「何を学ぶか」「どういうことに気をつけるか」ということを考えながら、見学することができた。生徒の感想からも、焦点を絞って見るべきことをしっかりと見て、内容が理解できているということが、感じられた。 ● 日づけの確認、日誌の書き方、時間の意識、がわかるようになってきて、日常生活でも日づけや時計への関心、話の聞き方やすべきことを先にするという姿勢などで学習効果がみられる。
保管場所 又は所有者	<p>本校 中学部</p>




【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	電動移動遊具「DonDonIkoo」の活用
写真 使用方法	 <p>少しの力で操作を可能にするために段ボールで作成し、オリジナルのジョイスティックの上から被せて使用する。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	中学部 DE グループ
素材・作り方等	素材： 段ボール、柔らかいボール
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none">● Dondonikoo 本体のレバーよりも大きく、操作がしやすくなっていた。● 前だけでなく、左右にも動かすことができていた。● 手の当たる部分、持つ部分を滑りにくい素材にすることでさらに操作しやすくなるのではないかな。
保管場所 又は所有者	Dondonikoo： 本校 自立活動部 レバー： 本校 中学部



【教材・教具】国語

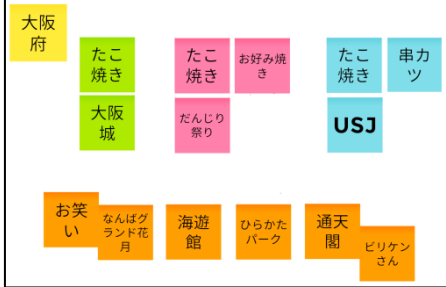

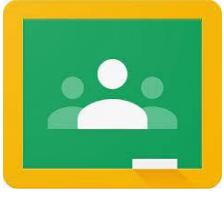


教科・領域	国語
名称	「自己紹介」(Google Workspace for Education を活用)
写真 使用方法	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">Google Classroom (クラウド上の教室)</div> 「ストリーム」を開き、[クラスへの連絡事項を入力]に『得意なことは何?』などの質問を入力し、投稿する。 授業で生徒が[コメント]入力する。 
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 G1 グループ
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> ・ Google Classroom ・ GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad ・ PC (指導者用) ・ 電子黒板
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自己紹介」は、まず 1 人ずつ口頭で発表し、指導者の質問に口頭で答えるという取り組みをした。その次に、Google Classroom を使用した。Google Classroom を初めて使用するため、「ストリーム」に入力することから始めた。 ● Google Classroom にデータが自動保存できるので、情報を集約することができ、クラスで共有していくことができた。[クラスのコメントを追加]で指導者から書き方のポイントなどを生徒に伝えることができた。 ● 一度書いた文章を送信すると書き直すことができなくなるため、作文を書く活動では、「ストリーム」ではなく、別の方法を検討し、推敲をよりよく行えるようにしていきたい。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】国語



教科・領域	国語
名称	「大阪府の紹介文を書こう」(Google Workspace for Education を活用)
写真 使用方法	<p>Google Classroom (クラウド上の教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「授業」タブを開き、[+作成]「課題」を順にクリックする。[タイトル] [課題の詳細] 入力し、[クラス] に配信する。授業で生徒が [コメント] 入力する。 <p>Google Jamboard (デジタルホワイトボードアプリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子黒板にミラーリングし、生徒が入力した「大阪府を紹介する言葉」を指導者が [付箋] で貼り付け、生徒の考えを可視化し、集約、整理する。 【食べ物】【場所】【その他】に分類し、[付箋] を並び替える。 各生徒が選んだ言葉 [付箋] を色分けし、その言葉を使って紹介文を書く。   
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 G1 グループ
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> ・ GWS (Classroom, Jamboard) ・ GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad ・ PC (指導者用) ・ 電子黒板
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● Google Classroom にデータが自動保存できるので、情報を集約することができ、学習した内容を整理・確認することがスムーズにできた。 ● Google Jamboard は生徒が今回初めて見るものであったため、指導者が入力して活用の仕方について説明しながら行った。指導者が大阪府を紹介する言葉を【食べ物】【場所】【その他】という視点で [付箋] を動かしたり書き直したりすることで、構造的に分類し、まとめることができた。また、電子黒板で表示し、クラスで共有していくことができた。 ● Google Workspace for Education のさらなる効果的な活用を模索していきたい。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】国語



教科・領域	国語
名称	「ひらがな入力」
写真 使用方法	<div data-bbox="432 589 659 640" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ひらがなカード</div> <p>身近なもの（野菜・果物・動物・乗り物など）の名前が書かれたカードでひらがなを読む</p> <div data-bbox="951 595 1433 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <div data-bbox="432 864 820 916" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">iPad アプリ『ごじゅーおん』</div> <div data-bbox="715 999 935 1214" style="display: inline-block; text-align: center;"> </div> <div data-bbox="951 864 1433 1223" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 F グループ
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなカード ・iPad アプリ『ごじゅーおん』 ・GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉛筆でひらがなのなぞり書きの練習をしているが、なかなか習得することは難しい。タブレット端末では、カードに書かれたひらがなを画面上から選び、入力することができた。 ● iPad アプリ『ごじゅーおん』は、一度に 12 文字までしか入力することができないため、文を入力することを考えると、別の方法を考えていく必要がある。 ● 継続して取り組むことで、今後タブレット端末を筆記用具として活用することができるようになると思われる。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】数学



教科・領域	数学
名称	スーパー・生活雑貨店 ラベル表示 レシート
写真 使用方法	    <p>これらの資料を基に、割合や比と比の値について学習した。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 3 年、G2 グループ (中学 1 年生段階の学習グループ)
素材・作り方等	<ol style="list-style-type: none"> ① スーパーや生活雑貨店に出かけ、市場調査を行なう。 ② ラベル表示やレシートを活用し、消費税の割合や比について学習する。
使ってみて (効果・反省等)	<ol style="list-style-type: none"> ① 1ヶ月に何がどれだけ必要なのか。収入が10万円と仮定して、住居費(家賃・共益費・管理費)・食料費・水道光熱費・生活用品費・被服費・保健医療費・交通費・通信費・娯楽費・その他(理容費・交際費)について、iPadで自分で情報を得ながら調べた。その後、実際にスーパーや生活雑貨店に出かけることで、自分にとって、必要な物や値段を知ることができた。 ② 軽減税率についても調べ、物によって消費税率が違うこと、どういうものが、8%で10%であるのかを学習することができた。また肉類は量り売りなど、スーパーでの調査も行ない、消費税の計算の仕方も学習した。比についても、めんつゆボトルのラベル表示を利用して学習することができた。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】社会



教科・領域	社会
名称	Google Classroom
写真 使用方法	<div data-bbox="432 591 874 922" data-label="Image"></div> <div data-bbox="906 591 1347 792" data-label="Complex-Block"> <p>自 表現の自由について調べなさい 調査発表・6月14日 100点</p> <p>表現の自由は憲法第21条で保障されているが、また、表現の自由に関する、最高裁判所の判決ではどのようなものがあるか、インターネットで調べなさい。調べた内容を、下記の順にまとめなさい。 ①判例の名前（どのような判例だったか） ②判決の下りの日付 ③判例の内容</p> </div> <div data-bbox="906 801 1378 922" data-label="Complex-Block"> <p>生徒の答え</p> <p>第21条 ①ヘイトスピーチ規制条例 ②2022年5月15日 ③民族差別をあるヘイトスピーチを行った個人や団体の名前を公表して定めた大阪市の条例が憲法に違反するかどうかが行われた。</p> </div> <p>高等部 FG グループの生徒は、登校後 GIGA iPad を教員から手渡されると、デジタルでのイラスト作成や、YouTube で歌を聴く、ダンスの動画に合わせて踊りの練習など生徒一人ひとりの興味関心に合わせた活動をしている。登校後の時間に学習を深める活動に取り組む目的に Google classroom で課題を出題した。Google classroom ではグループや教科ごとで別々の class を持つことができる。教員は「授業」のタグで個別に課題を出題することや採点することができる。生徒は iPad を使える時間を活用し、課題に取り組むことができる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 G2 グループ
素材・作り方等	割り当てられた Google アカウントを利用すれば、校務パソコン、学校情報ネットワークパソコン、学校 iPad など、どのデバイスからも Google classroom にアクセスできる。授業内容の復習をしつつ、どのような解答が考えられるか話し合いながら、Google classroom に出題する課題を作成した。
使ってみて (効果・反省等)	休み時間などを活用し、自発的に iPad での学習を行う姿が見られた。課題についてインターネットで調べた内容をコメントとしての確にまとめ、解答を投稿することができた。繰り返し出題する中で、自分で文章にまとめる力が付き、定期テストでの記述問題に対して、生徒自らが考えて解答を記入することが増えた。結果的にテストの点数が伸びた。生徒の解答がその日の下校前に提出されていることもあり、提出された内容についてさらに学習を深める課題を出題することで学習を連続することもあった。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】音楽

ICT

教科・領域	音楽
名称	iPad アプリ「GarageBand」を使用したバンド合奏
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 FG グループ
素材・作り方等	<ol style="list-style-type: none"> 1. iPad アプリ「Garageband」を開き、楽器選択画面で KEYBORD の smart piano（smart ギター・ベース・ストリングスもあります）を選択する。 2. コードストリップモードにする。コードが表示されていたらそのまま。鍵盤表示の場合は右の方にある chord/note ボタンで切り替える。 3. 楽譜（コードが書かれているもの）を入手する。曲名+コードで検索。 4. コードに合わせてボタンを押して演奏する。
使ってみて (効果・反省等)	<p>「旅立ちの日に」「I LOVE YOU」の2曲に取り組み、7, 9, 12月にバンド演奏の発表を行うことができた。インターネットで自分の好きな曲のコードを調べてアプリのギターで自主的に練習し、卒業後は本物のギターを買う計画を立てる生徒の姿も見られた。音楽理論、楽器演奏の入門として非常に有効であった。</p>
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1人1台端末 iPad



【教材・教具】音楽

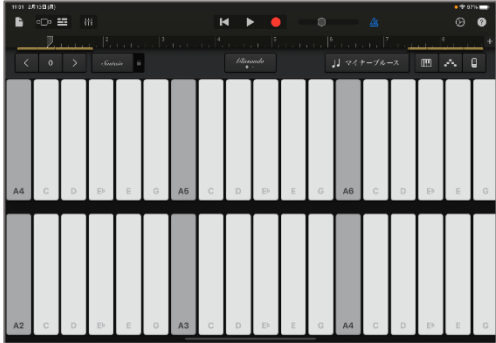

ICT

教科・領域	音楽
名称	映像楽譜 「ドラえもん（星野源）」、「トレパーク（チャイコフスキー）」 「怒りの日（ヴェルディ）」、「Rockafeller Skank（Fatboy Slim）」
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 DE グループ、FG グループ
素材・作り方等	1. ドラムのアニメーションを作成する（SCRATCH にてプログラミング） 2. アニメーションを音楽に合わせる（動画編集ソフト adobe premier を使用）
使ってみて （効果・反省等）	映像楽譜動画を4本作成した。 Fグループの授業では毎週「ドラムやる」という生徒の期待する声が聞かれた。「Rockafeller Skank」「ドラえもん」の2曲は特に人気だった。ドラムセットの中で次に叩く場所を覚えて素早く移動して叩き分けることができるようになった。「トレパーク」「怒りの日」「Rockafeller skank」の3曲は、登場するドラムの種類が種類ずつなので、リズムのみに集中しテンポが遅くなったりする所や休符の多いリズムなどでも、待つことができるようになった。 DE グループではドラムがアニメーションすることと叩くことの関連付けができつつある生徒もいた。
保管場所 又は所有者	本校 高等部



【教材・教具】音楽



教科・領域	音楽
名称	誰でもできるブルース
写真 使用方法	 
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 DE グループ
素材・作り方等	<ol style="list-style-type: none"> 1. Youtube で「A blues backingtrack」で検索。ブルースの伴奏を手に入れる。 2. iPad アプリ「Garageband」を開き、楽器選択画面で KEYBORD の smart Piano を選択する 3. 鍵盤モードにする。鍵盤が表示されていたらそのまま。コードストリップ表示の場合は右の方にある chord/note ボタンで切り替える。 4. 設定/歯車ボタンでキーを A メジャーに設定。 5. Scale ボタンで音階をマイナーブルースに変更する（メジャーブルース、マイナーペンタトニック、メジャーペンタトニックでも可）。白黒の鍵盤が消えて選択したブルース音階の鍵盤が表示される。 6. 1. で手に入れたブルースのバックイングに合わせて即興演奏する。 7. 鍵盤以外の場所を触ってしまわないようにケースのフタを3分の1ほど折り曲げて鍵盤だけが出るようにする。
使ってみて (効果・反省等)	<p>自立活動で週2回と音楽の授業で週1回ほど取組んだ。回を重ねるごとに指を積極的にタブレットの方に向けて動かす動きが目に見えて多くなった。音楽室に入るだけで笑顔になったり声を出す姿も見られた。ピアノ以外の音色にすると反応が違う様子も見られた。(ピアノが一番好きなようである)。また伴奏をピアノの生演奏にして生徒が弾いた音に近い音でレスポンスするなどすると喜んでいられるようにも感じられた。</p>
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1人1台端末 iPad



【教材・教具】 家庭分野




<p>教科・領域</p>	<p>家庭： 住生活分野 (趣味や好きなことを増やそう ～充実した余暇活動～)</p>
<p>名称</p>	<p>「この写真はどこでしょう？」 「〇〇動画を撮ろう！」</p>
<p>写真 使用方法</p>	<div data-bbox="427 622 1066 846" data-label="Image"> </div> <p>生徒の多くは将来、自分用のタブレット端末やスマートフォンを持つと予想されるので、充実した余暇活動をめざし、タブレット端末のいろいろな機能を使用する課題を行った。</p> <p>「この写真はどこでしょう？」 校内で特徴のある写真を「AirDrop」で生徒の1人1台端末 iPad に送信し、どこにあるか考え、その現場に行き行って写真を撮るという課題。</p> <p>「〇〇動画を撮ろう」 写真は撮ったことはあるが動画を撮ったことがない、という生徒が多かったので、「食材を赤黄緑の食品群に分ける」「あっち向いてホイ」など様々な動画をお互いに撮る課題を設定した。</p>
<p>対象児童生徒 学年・グループ</p>	<p>高等部 G グループ</p>
<p>素材・作り方等</p>	<p>(使用したもの) ・ iPad (カメラアプリの写真・ビデオモード、時計アプリのストップウォッチ、AirDrop) ・ 確認用テレビ ・ 赤黄緑の食材カード</p>
<p>使ってみて (効果・反省等)</p>	<p>写真課題は 2 チームに分かれてお互いへの課題を考えるなど応用ができ、みな が楽しみながら取り組むことができた。</p> <p>食材を赤黄緑に分ける動画は、「赤黄緑タイムトライアル！」と称して、プレイヤー、タイムキーパー (時間を計る)、カメラマン (動画撮影) に役割分担して 取組んだ。ゲーム設定にすることで生徒の意欲が向上し積極的に取り組んでいた。 AirDrop を普段から活用するようにし、撮影した写真や動画をテレビ・電子黒板 で確認することで振り返りが行いやすかった。</p> <p>動画は、写真と比較して動きや声・音が入るので生徒の興味や関心を引きやす い。</p>



【教材・教具】職業（校内実習）



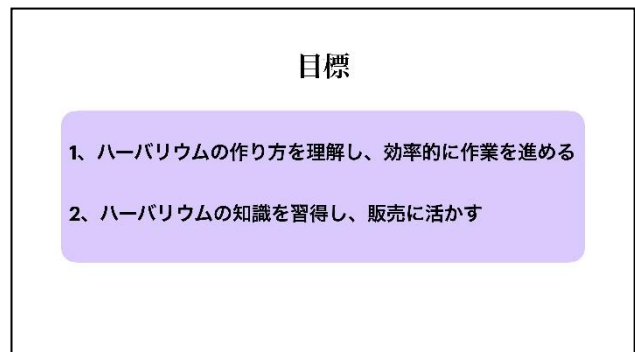
教科・領域	職業（校内実習）
名称	ハーバリウムボールペンについてや作成方法について
写真 使用方法	 <p>ハーバリウムの効果や使い方を学ぶことで販売実習の際にお客様へそれらを説明し、宣伝することができる。 ボールペンの作成手順の動画を生徒のタブレット端末に送ることで、作業工程の動画を見て、創意工夫をしながら作業を行うことができる。</p> <p>※教材は次項参照</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 G グループ
素材・作り方等	<p>iPad アプリ「Keynote」で作成 ハーバリウムの概要は、校内実習での販売の際にお客様へ向けて説明するために活用。 ハーバリウムボールペンの作成動画は、生徒のタブレット端末に送り、作業工程の動画を見ながら実際に作成。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<p>生徒が概要を認識したことで、販売する際のお客様からの質問などに答えることができるようになった。 作業工程の動画を活用することで、分からない部分を自分で動画を見て考え、作業を行うことができた。</p>
保管場所 又は所有者	本校 高等部

※ 参考資料

①



②



③



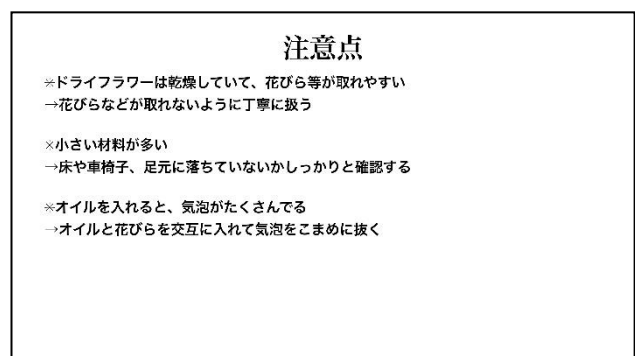
④



⑤



⑥





【教材・教具】サークル活動






教科・領域	特別活動（サークル活動）
名称	パソコンサークル
写真 使用方法	<p>①Droptap を使って作成した好きなもの ②</p>   <p>iPad アプリ「Droptap」にインターネット上にあるアンパンマンとバーバパパの写真を取り込んだ。「アンパンマンが好きです」「バーバパパが好きです」と教員の声を「Droptap」に録音しそれぞれの写真に添付する（写真①）。発表時には、それぞれの個所に iPad タッチャーを乗せ、それぞれにスイッチを接続する。テレビモニターにつなぎ、サークルメンバー全員に「Droptap」の画面で自己紹介をする。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 DE グループ
素材・作り方等	iPad アプリ「Droptap」、写真素材 iPad タッチャー（2個）、スイッチ（2個）
使ってみて （効果・反省等）	Droptap は iPad アプリで、活用が容易である。教員が編集するときも視覚的にわかりやすい。肢体不自由のある生徒が iPad を利用する際、アクセシビリティを活用しても、不随意の運動で意図せぬ画面操作をしてしまうことがある。そのため、iPad タッチャーとスイッチで、画面タッチの確実性を保証しようとしたが、iPad タッチャーも装着時に画面をタップしてしまう誤反応があった。そこで、基本的に写真②のように同じ場所に装着し続け画面に表示されるスライドを展開していくこととした。そうすることで、誤反応の回数を減らすことができた。
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad



【教材・教具】中津まつり




教科・領域	特別活動（中津まつり）
名称	パソコンサークル
写真 使用方法	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>①</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>③</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>④</p>  </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>③左スワイプをタッチするとアシスティブタッチができるようになる。</p> <p>④アシスティブタッチ稼働時は画面に黒丸が現れる。</p> </div> <p>手順として、iPad の設定を開き、アクセシビリティ→タッチ→アシスティブタッチをオンにする→新規ジェスチャーを作成→左スワイプのジェスチャーを入力し名称を「左スワイプ」とする（写真①②）。アシスティブタッチがオンになると、写真④のように画面に黒四角中抜き白丸が現れる。それをタップすると、写真③の選択肢が現れ、左スワイプをタップすると、写真④の灰色丸が現れ、画面に触れると PowerPoint のスライドを左スワイプで進めることが可能になる。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 DE グループ
素材・作り方等	iPad の標準装備の機能である。黒四角中抜き白丸をタップすることで、アシスティブタッチを終了することができる。再度タップすると再開することができる。
使ってみて (効果・反省等)	<p>肢体不自由のある生徒に活用する場合、PowerPoint をめくる左スワイプが難しい場合に、画面を何本の指で触っても、左スワイプができるようになり活用しやすかった。ただ、黒四角中抜き白丸部分に触れてしまうと、アシスティブタッチが終了してしまい、スライドショーができなくなることがあった。中津まつりの舞台の上でのトラブルに対し、同級生の生徒が画面操作をし、再びスライドショーができるようになるなど、生徒の協力協同場面が見られた。画面タッチに対して、アクセスガイドを用いれば、肢体不自由のある生徒の活用はより正確性を増したと反省している。アクセスガイドの設定や、Bluetooth マウスとスイッチなど、より操作性の高い ICT 活用につなげていく取組みとなった。</p>
保管場所 又は所有者	GIGA スクール構想 1 人 1 台端末 iPad 生徒作成の Powerpoint 資料



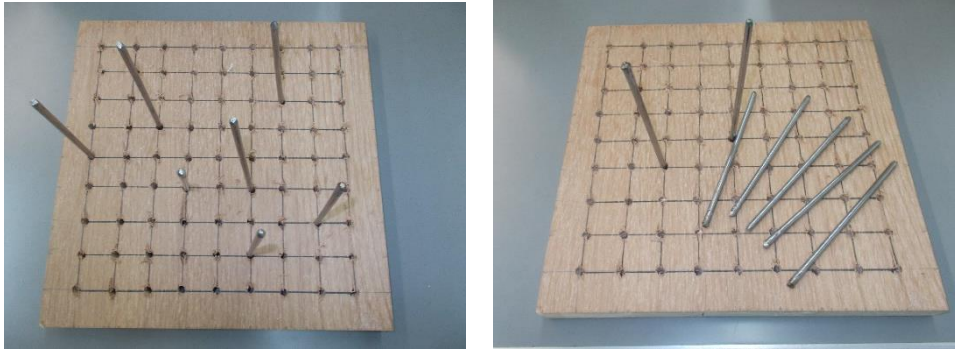
【教材・教具】学部活動



教科・領域	学部活動、特別活動
名称	「なぞときオリエンテーリング」
写真 使用方法	 <p>iPad やスイッチ等の ICT 機器を使用し、学部全員を学年やグループをシャッフルしたチームで協力してミッションクリアをめざす校内オリエンテーリングを実施。</p> <p>ミッションの中に「集合写真を撮る」や「歌ってみた動画を撮る」、「他学部の先生とかわいいポーズで写真を撮る」といった iPad の操作を必要とする内容を設定して実施。また iPad の通信ツール AirDrop を使用してクイズの写真を送信したり、生徒が撮った写真や動画を送信してもらったりして、振り返りに使用した。</p> <p>また、全生徒が iPad を使用できるようスイッチ教材を必要に応じて使用した。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部全学年・全グループ対象
素材・作り方等	<ul style="list-style-type: none"> ・ iPad (AirDrop、歌動画、クイズ用写真、ヒント用ボイスメモアプリ、ルーレットアプリ) ・ 確認用テレビ ・ 各種スイッチ ・ ミッション用コーン ・ ミッション用紙各種
使ってみて (効果・反省等)	<p>夏休みの他学部がない単独の登校日を活用して（他学部の教員にも関わりをもちやすい）行った。ねらいとして、「iPad の様々な機能を把握しそれらを駆使する」「学部内交流」「他学部教員等に依頼することで少しでも社会性の向上をめざす」等をあげ、生徒だけでなく教員にも一緒に楽しんで参加できるよう企画した。事後に感想を聞くと「楽しかった」「またやりたい」「動画を観るのが面白かった」という意見もあれば、「他学部の先生に写真を依頼するのが恥ずかしかった」「もう少し内容が難しくても良い」という意見もあった。</p> <p>AirDrop を使用することで簡単に写真や動画の通信ができ、振り返りをスムーズに分かりやすく行うことができた。様々な授業において、日常的にタブレット端末を使用する機会が増え、みな積極的に取り組んでいた。</p>



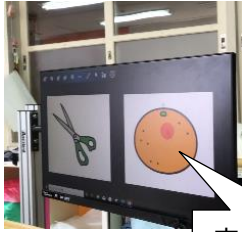

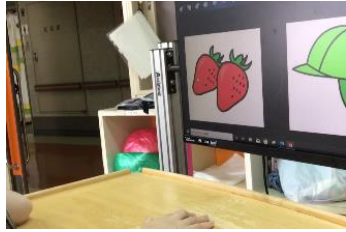
【教材・教具】 自立活動

教科・領域	自立活動
名称	自作ペグ差し
写真 使用方法	
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 DE グループ、高等部 FG グループ (手指に麻痺のある生徒が使用する)
素材・作り方等	盤： 300mm × 300mm × 厚さ 25mm の合板 ペグ棒： 太さ 5mm 長さ 150mm の釘 <ul style="list-style-type: none">● 合板に 30mm のマス目を引く● マス目が交差する点に 7mm の穴をあける● ペグ棒は釘をグラインダーで削り、頭部分と尖った部分を丸く削る
使ってみて (効果・反省等)	<ul style="list-style-type: none">● 生徒が棒をつまもうとする行為が期待できる。● 指先をうまく使おうとする行為が期待できる。● 盤の穴をよく見てペグ棒を差そうとする行為が期待できる。
保管場所 又は所有者	本校 高等部



【教材・教具】 自立活動


ICT

教科・領域	自立活動
名称	課題活動
写真 使用方法	<p>①  ②  ③ </p> <p>赤色の●が視線の動きを表している</p> <p>Miyasukumouse と Tobii4C で、PowerPoint の画面を視線でクリックできるように設定した。写真①みかんの中央に赤い○があるが、これは視線入力を使っている生徒の視線である。3秒見るとクリックされ、次動画が再生されるようにした（写真②）。同じように、イチゴと帽子、ギターと傘など生徒が知っているイラストを二つ並べた PowerPoint のスライドを作成した。</p>
対象児童生徒 学年・グループ	高等部 DE グループ
素材・作り方等	<p>本校の視線入力用の PC に Miyasukumouse がインストールされている。イラストはインターネットのフリー画像を利用した。</p> <p>視線入力装置は、次世代のものが本校にも導入されているが、Miyasukumouse の利用にあたっては、旧型のものが活用しやすかった。</p> <p>PowerPoint の画面については、仙台高等専門学校竹島研究室の (http://htake-lab.moo.jp/Arithmetic/pages/index.html#contents) の竹島久志先生の研修会で学んだ「選択教材（オートスキャン）ソフトの制作」を参考にして、作成した。</p>
使ってみて (効果・反省等)	<p>二枚のイラストのうち、教員が「みかんはどっち？」と尋ねると、視線で選択するという課題だった。選択後、みかんの歌を聴くことを強化子として教材を作成したが、学校情報ネットワークパソコンでの動画再生は音声途絶えがちで、生徒の期待に副うことが難しかった。動画よりも安定して再生できる好きなキャラクターや好きな先生の写真を用いたほうがよかった。また、一回の授業で、選択できるのは3種類が限度で、視線入力で生徒が疲れることを痛感した。</p>
保管場所 又は所有者	本校 高等部

活動實踐事例



スパイダー（重力軽減環境訓練システム）

教科・領域	自立活動
名称	スパイダー
写真 使用方法	<p>【使用方法】</p> <ol style="list-style-type: none">① 児童に腰ベルト・股ベルトを装着する。② フレームに付けたゴム紐をベルトに装着する。 <p>【使用時間】 毎週水曜日 5 時間目(15 分程度)</p> 
学年・グループ	小学部 2 年・AB 低グループ
ねらい	<ol style="list-style-type: none">① スパイダーに慣れ、自ら身体を動かして活動する。② してほしい動きを要求し、できたことによる快の表出から心理的な安定を図る。③ ジャンプの身体の動きを身につける。④ ボールを蹴る動作を身につける。
評価	<ol style="list-style-type: none">① スパイダーが好きになり、前を通ると指導者の手を引いて向かいやりたいと要求するようになった。② 動かしてほしい時は、指導者の手を足にもっていく等して要求できた。笑顔で声を出して楽しみ、心理的な安定を図ることができた。③ 5月から開始し、当初は足首を曲げて甲で跳ねていたが、12月中旬に足底をつけてジャンプができるようになり、最高で連続65回跳べた。④ スパイダーをする前は手でボールをはらっていたが、足を使うことを覚え、蹴るようになった。後方に蹴ることが多いが、後ろに足を振り上げて前に蹴り出す場面も出てきた。後方から介助すると前に蹴ることができた。
保管場所	2F スロープ前



カニューレ抜去シミュレーション

教科・領域	職員研修
名称	カニューレ抜去シミュレーション研修
写真 使用方法	 
	 
	
対象児童生徒 学年・グループ	教職員
素材・作り方等	中学部が行ったカニューレ抜去シミュレーション研修 (R5年2月8日) の写真を取り、Microsoft Powerpoint でスライドを作成した。
使ってみて (効果・反省等)	次年度以降、校外学習に行く前に「緊急時の対応について」を話し合う際に利用できる。
保管場所 又は所有者	本校 共有フォルダ



研修資料等



同和問題について

同和問題について

人権委員会
森 裕実子

研修の流れ

- 1 同和問題について
- 2 人権学習の実践にむけて
- 3 校内研修について
- 4 おわりに

1 同和問題について

同和問題

日本社会の歴史的発展の過程で形作られた身分階層構造により、日本国民の一部の人々が現在でも差別を受けているという人権問題

同和問題の実態



・住む場所を決めるとき

近くに同和地区があると
言われてないか？



7人に1人が気にしている

・結婚において

周囲から結婚を
反対される



法務局 → 同和問題への理解を
深めるよう説示

・就職において

不利な扱いを
受ける



書類選考で不採用、差別に繋がる質問項目

・ネットにおいて

差別の助長に
繋がる情報の存在



ネット環境の発展に伴う課題

部落差別のない社会を実現させるために

- ・人権学習の実施
- ・教職員向けの校内研修の実施



教職員による差別事象も



同和問題をはじめとする
人権課題への理解を
深めることが必要

2 人権学習の実践にむけて

ねらいの設定

何のために？

⇒差別に気づき、なくす行動まで
つなげるため

誰のために？

⇒すべての児童生徒のため

実践に向けて大切なこと

- ・教職員が現実を認識
- ・児童生徒の実態把握とねらい

学習内容について

- ・気になる児童生徒に届くように
- ・事実に基づき、差別解消への展望を持てるように
- ・生き方に学べるように
- ・新しい研究成果を反映
- ・様々な状況にある児童生徒たちへのアプローチ

授業の進め方

・教職員の姿勢



部落差別を
許さない

自分自身の
言葉で

児童生徒と
ともに学ぶ

授業の進め方



・多様な意見の交流

おしつけない

気になる
生徒の様子
把握

すべての
生徒が参加

まちがっても
いい空間か

人権の尊重された授業・学校づくり

学習の充実のため学年・学校で取り組むこと

・チームとして取り組む

⇒ **ねらいや留意点を共有する**

・人権学習の計画的な実施

⇒ **入学から卒業までを見通し計画**

学校に人権学習の流れを根づかせる

3 校内研修について

内容の視点

- ・人権が尊重された教育に関する研修
- ・人権及び人権問題を理解する教育に関する研修
- ・教育を受ける権利の保障に関する研修

人権が尊重された教育に関する研修

- ・集団づくり
- ・子どもの権利条約をふまえた学校の在り方

人権及び人権問題を理解する教育に関する研修

- ・同和問題についての知識や理解を得る研修

⇒ **同じテーマを繰り返し学ぶことで理解が深まる**

教育を受ける権利の保障に関する研修

- ・「統一用紙」と「違反質問」に関する研修

4 おわりに

同和問題に関する人権学習を通して 児童生徒に育みたい力

差別に気づき
見抜く力

噂や偏見に
左右されず
自分の考えを
持つ力

差別をなくす
態度や行動を
取る力

資料紹介

- ゆまにてなにわ
- 人権教育リーフレット
- 教職員人権研修ハンドブック



ヤングケアラーについて

令和4年度 第3回人権研修資料

ヤングケアラーについて

令和5年3月6日(月)
15:30~
人権委員会 福田 恵一

内容

- ① ヤングケアラーとは
- ② 大阪府の実態
- ③ ヤングケアラーが抱える問題・困りごと
- ④ 最後に

① ヤングケアラーとは

ヤングケアラーとは・・・

➤ Young carers

ケアを担うこども・若者たち

ヤングケアラーの定義

- 日本ではヤングケアラーの正式な定義はない。

「家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものこと。」

(日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクトHPより抜粋)

例えば・・・

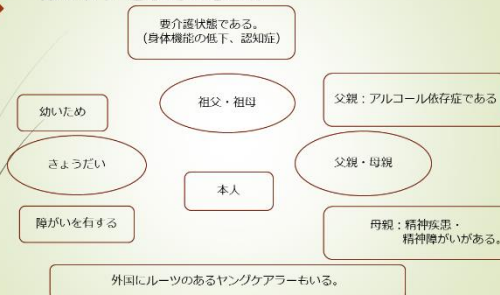
- ・介護が必要なおばあちゃんがいる。
- ・認知症のおじいちゃんがいる、常に見守りや話し相手が必要。
- ・お母さんが認知症、精神的な障がいがある。
- ・お父さんがアルコール依存症である。
- ・親が慢性的な病気だ。
- ・障がいのあるきょうだいがいる。
- ・親が日本語が苦手だ。

児童生徒が・・・

- ・家事（料理、洗濯、掃除など）をする。
 - ・年下のきょうだいの世話をする。
 - ・介護、見守り等をする。
 - ・通訳をする。（日本語通訳、手話通訳）
- それに加えて・・・アルバイトをして家計を助ける。

➔ **身体的な介護だけがケアではない。**

誰のケアをしているのか？



ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子をいいます。

- 障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている
- 障がいや病気のある家族に代わり、お風呂やトイレの世話をしている
- 障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている
- 障がいや病気のある家族の入院や通院のために通院している
- 障がいや病気のある家族の入院や通院の世話をしている
- 障がいや病気のある家族の入院や通院の世話をしている
- 障がいや病気のある家族の入院や通院の世話をしている
- 障がいや病気のある家族の入院や通院の世話をしている

引用：一般社団法人日本ケアラー連盟 / Illustration: Ikuo Shiga

児童生徒がしているケアの内容は？

- 家事
- 力仕事
- 外出時の付き添い（通院も）
- 感情面のサポート
- 病院・施設へのお見舞い
- 年下のきょうだいの世話

引用：（高校生を対象に調査：大阪医科大学医療保健学部 濱島淑恵 教授）

- ・ケアの内容は日常的なものから、高度のものまで多様である。
- ・直接的な介護というより、家事や感情面のサポート、特定の場面での介護・介助が目立つ。
- ・ケアの頻度⇒ほぼ毎日行っている。
- ・ケアの時間⇒1時間未満や短時間もある、長時間もある。

子どもがしている度を超える「手伝い」が、実は「ケア」であること、負担がかかっていることを、周囲が認識する必要がある。

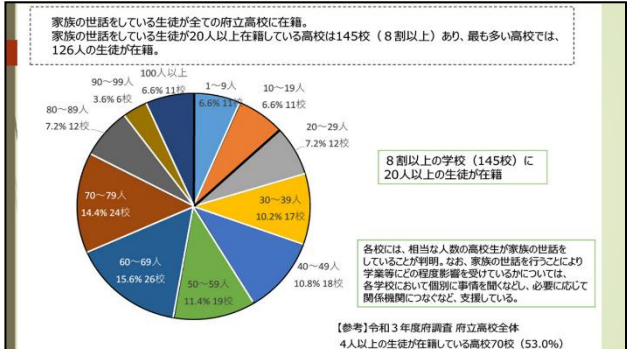
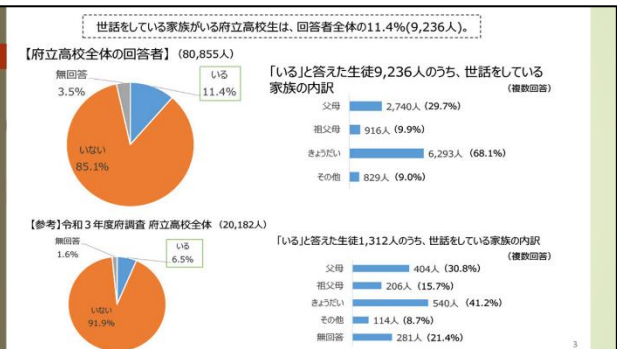
② 大阪府の実態

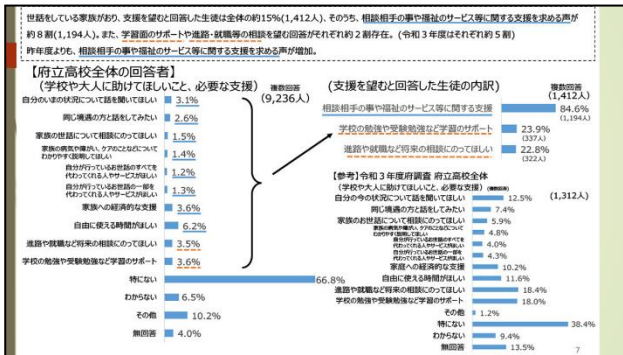
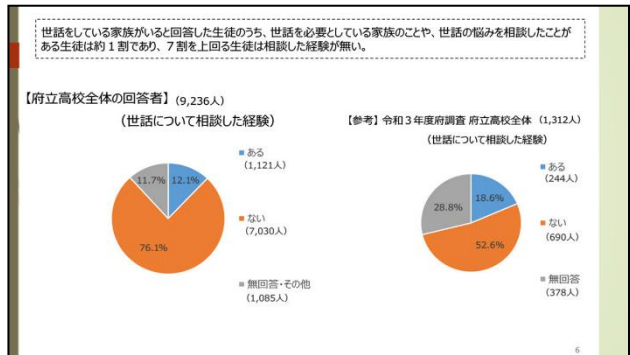
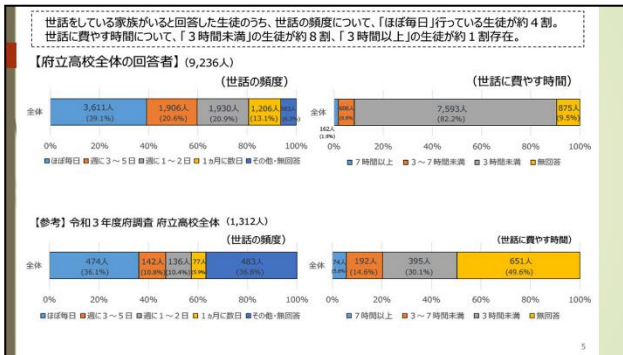
引用：大阪府教育庁教育振興室高等学校課生徒指導室
府立高校におけるヤングケアラーに関する調査結果について（概要）
令和4年11月

調査目的	府立高校におけるヤングケアラー（※）の生活実態やケアによる学校生活への影響、支援ニーズ等を把握し、適切な支援につなげることができるよう、実態調査を実施。 ※本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている生徒のこと。
調査対象	府立高校生全員（109,264人）
調査手法	各府立高校において、1人1台端末等を活用し、ウェブ上で回答（回答は任意）
調査期間等	調査期間：令和4年7月から9月 回答者数：80,855人 回答率：74.0%（令和3年度府調査 回答者数：20,182人 回答率：19.7%）

調査結果の概要

- 回答者約8万人のうち、9,236人（11.4%）が世話をしている家族がいるとしており、昨年度の府調査[回答者約2万人のうち、1,312人（6.5%）]に比べて4.9ポイント高い。
- 家族の世話をしている生徒はすべての府立高校に在籍。世話をしている家族がいると回答した生徒が20人以上在籍している高校は167校中145校（8割以上）あり、最も多い高校では、126人の生徒が在籍。
⇒各校には、相当な人数の高校生が家族の世話をしていることが判明。
なお、家族の世話をすることにより学業等への程度影響を受けているかについては、各学校において個別に事情を聞くこととしており、必要に応じて関係機関につなぐなど、支援している。
- 世話をしている家族がいると回答した生徒の状況は以下のとおり。
 - ・世話の頻度について、「ほぼ毎日」行っている生徒が約4割。
 - ・世話に費やす時間について、「3時間未満」の生徒が約8割、「3時間以上」の生徒が約1割存在。
 - ・世話を必要としている家族のことや、世話の悩みを相談したことがある生徒は約1割であり、7割を上回る生徒は相談した経験が無い。
- 世話をしている家族があり、支援を望むと回答した生徒は全体の約15%（1,412人）、そのうち、相談相手の事や福祉のサービス等に関する支援を求めると約8割（1,194人）。また、学習面のサポートや進路・就職等の相談を望む回答がそれぞれ約2割存在。





ヤングケアラーをめぐる国の動き

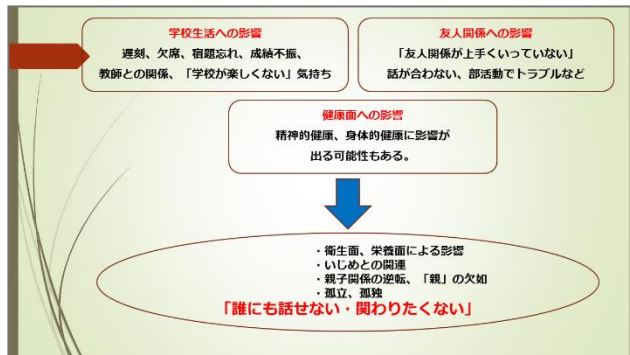
厚生労働省と文部科学省によるプロジェクトチームを設置(令和3年3月)

<共同議長> 厚生労働省副大臣、厚生労働省副大臣
<構成メンバー> 両省の関係局長及び空・課長

福祉、介護、医療、教育等の関係機関が連携し、ヤングケアラーを早期に発見して適切な支援につなげる。

- 早期発見・把握**
 - 福祉、介護、医療、教育等関係機関、専門職やボランティア等への研修・学び機会の推進
 - 地方自治体における現状把握の推進
- 支援策の推進**
 - 悩み相談支援
 - 関係機関連携支援
 - 教育現場への支援
 - 適切な福祉サービス等の運用を検討
 - 幼いきょうだいをケアするヤングケアラー支援
- 社会的認知度の向上**
 - 2022年度から2024年度までをヤングケアラー認知度向上の「集中取組期間」
 - 当時は中高生の認知度5割を目指す。

③ ヤングケアラーが抱える問題・困りごと



- ・家族のケアを担うことは悪いことではない。
→そこから得るものも多い。
- ・しかし、ケアを担うことで様々な負担、困難を抱え、それが生涯にわたって重大な影響を及ぼすことがある。
- ・遅刻、欠席、授業中の居眠り、成績不振、不登校、非行、いじめ等の背景に「家族のケア」がある場合がある。

ヤングケアラーの支援として、スクールソーシャルワーカーの活動が挙げられる。

(スクールソーシャルワーカーとは)

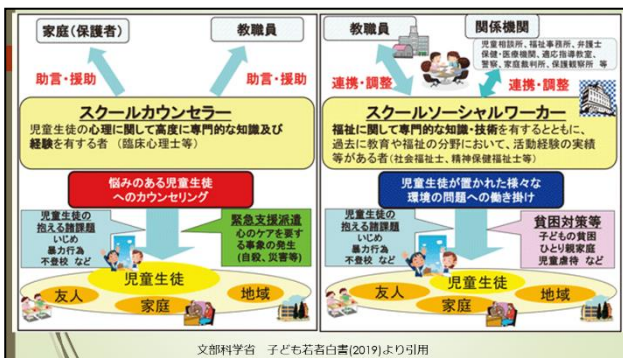
- ・福祉の専門的知識・技術をもって、学校に活動の基盤をおき、本人と本人がおかれている環境(学校、家族、地域)に働きかける専門職である。

(目的)

- ・生徒が学校生活を送る中で直面する困難について、生徒の最善の利益を追求し、教育権の保障と自立支援の視点から問題の解決を目指す。

(活動内容)

- ・生徒を取り巻く環境の改善をめざし、関係機関とのネットワーク等を活用する。学校や教職員も生徒にとっての大きな社会資源の1つであり、すべての教職員が生徒のサポートに関与するチームの一員である。学校が、生徒が安全に教育を受けられる環境になるように、または、その環境を維持し続けられるように様々な構造的に働きかける。



④ 最後に

「助けてほしいとは思わない。
ただわかってほしかった。」

ご清聴ありがとうございました。



防災： 図上訓練報告資料

第1回 4施設合同図上訓練

実施報告資料

2022.7.22.(Fri) 13:00～ 学院3F会議室

参加人数

大阪整肢学院 13名
 中津支援学校 6名
 中津学園 3名
 中津保育園 1名

合同訓練実施要綱

- 1.訓練目的**
大規模災害を想定した場合の初動対応能力等の向上と施設間の連携、共助意識の促進。
- 2.訓練日時・場所** (①：図上訓練 ②：合同避難訓練)
①日時：2022年 7月22日(金)
②日時：2022年10月24日(月) 場所：学院および中津支援学校
- 3.主催・参加施設**
主催：大阪整肢学院・大阪府立中津支援学校
参加施設：中津学園・中津保育園
- 4.災害想定**
地震・津波

Roadmap

本資料は図上訓練の報告です

5月 事前会議 → 7月 図上訓練 → 10月 合同避難訓練

学院、中津支援学校の第2回防災連携会議で7月の図上訓練に向けた打ち合わせを実施しました。

- ・図上訓練進行方法の確認
- ・検討事項の選定 など

10月の合同避難訓練に向けた施設間の交流、情報共有のために図上訓練を学院で行います。

中津学園、中津保育園の代表者も参加。

中津支援学校との合同避難訓練(地震・津波)に合わせて実際に中津学園、中津保育園の利用者も学院に避難します。

議題/共有内容

職員と子ども(利用者)の数

各施設の平日、休日、時間帯での子ども(利用者)、職員の人数を確認しました。各施設の職員や利用者数を把握し、災害時の対応をイメージしてください。共助意識の向上や心構えに繋がります。

1.職員と子ども(利用者)の数

利用者および職員人数		~7:00	8:30~17:00	19:00~
整肢学院	入所児	85		
	職員	15	40~50 (20~30)	8
中津支援	職員	0	60~70 (0~2)	0
	利用者	22	2(22)	22
中津学園	職員	4~5	2~4	1~2
	園児	20(0)	160(0)	0
中津保育園	職員	6(0)	38(0)	0

各施設の平日、休日、時間帯での子ども(利用者)、職員の概ねの人数を示しています。()内の数字は休日の人数です。

日中の職員数は十分ですが、夜間、休日は職員数が児の数に対して圧倒的に少ないことを理解しておく必要があります。

特に整肢学院と中津学園の夜間避難は困難を伴うことを認識してください。

議題/共有内容

避難経路確認 (Google map)

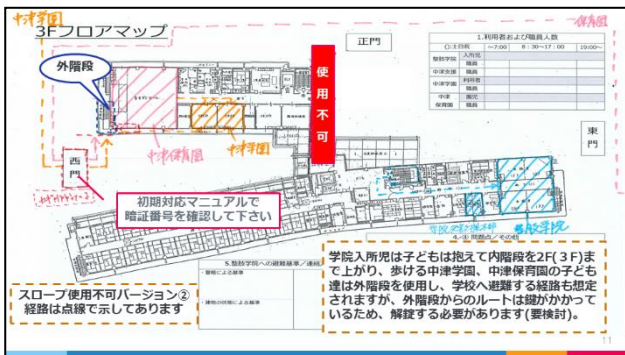
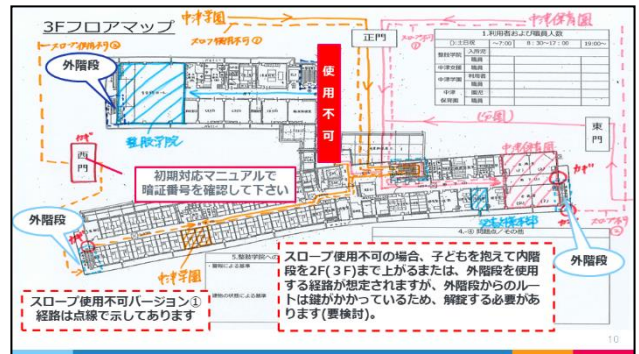
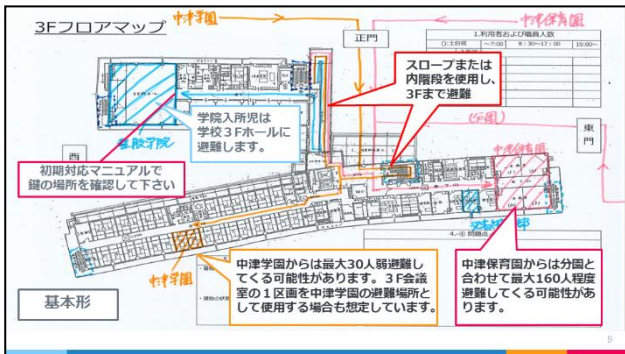
各施設から学院までの安全なルートの確認、安全対策の検討を行いました。夜間避難時の問題点が出てきたため、今後対策を検討していきます。中津保育園には分園があります。場所の確認をお願いします。



議題/共有内容

院内経路/避難場所 (3Fフロアマップ)

学院内での避難場所および避難場所までの経路を確認しました。学院、支援学校の内階段と外階段の場所を確認し、スロープが使用できない場合の経路を検討しました。外階段を使用する場合に鍵に関する問題が出てきたので対策を今後検討していきます。



議題/共有内容

学院への避難基準および連絡方法

整肢学院への避難基準、連絡方法を検討しました。

避難基準としては大津波警報発令時や建物の状況(倒壊の危険性がある)が案として出ましたが、連絡方法は今後の検討課題となりました(スマホの活用など)。学院側としては大津波警報発令時、かなり強い揺れを感じた場合には2施設から避難してくるかもしれないという心構えが必要となります。

令和4年度 地域支援委員会 活動報告

令和4年度 活動報告

地域支援委員会
今奈良 文美

リーディングスタッフの仕事

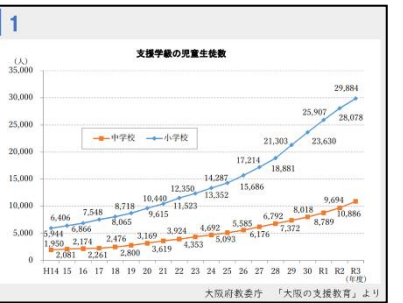
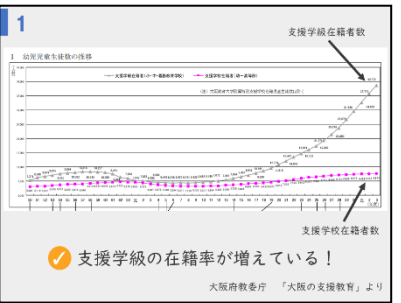
- 1 訪問相談や来校相談及び電話相談
- 2 合同相談会の企画や協力
- 3 障がい理解推進、校内委員会等の体制づくりへの助言
- 4 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成・活用に向けた助言
- 5 教育、医療、保健、福祉、労働等の関連機関との連携・協力体制の構築

- 6 市町村関係部局等、小・中学校等が主催する研修会や協議会等への参加
 - 7 小・中学校等の教職員に対する研修講師の派遣
 - 8 自立活動等における指導実践の公開、教材教具に関する情報提供及び貸し出し等
 - 9 専門性の向上に向けた研究協議会・研修への参加
 - 10 その他、大阪府教育庁が必要と認める支援
- 地域支援整備事業より

1 訪問相談や来校相談及び電話相談

令和4年度
豊能ブロック訪問相談件数

訪問回数	相談件数
132回	263件



2 合同相談会の企画や協力

各市町の小中学校での事例検討会へ参加

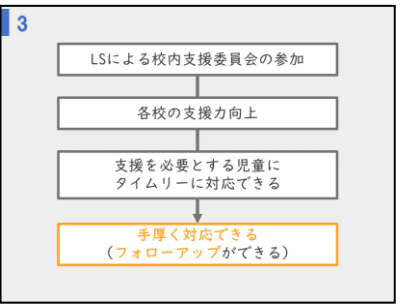
- 事例検討会
 - 【方法】インシデントプロセス法
 - 【方法】氷山モデル、ABC分析

3 障がい理解推進、校内委員会等の体制づくりへの助言

校内支援委員会への参加

校内支援委員会の進め方や円滑に支援方針を決定する方法の提案 (3回/年程度)

「応用行動分析」を用いて行うことを提案



3 小学校、中学校の校内支援委員会に参加

<流れ>

1回目	応用行動分析とは対象児童の決定
2回目	ABC分析、機能分析 支援方法の決定
3回目	インシデントプロセス法 ABC分析

4 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成・活用等に向けた助言

- 毎年、小・中・高への引継ぎ状況の確認
 - 令和4年度 大阪府引継ぎ状況
 - 就学前→小学部 81%
 - 小学校→中学部 95.3%
 - 中学校→高等部 93.7%
 - (中津支援 就学前→小学部 100%)
- 作成、引継ぎすることへの啓発、助言

6 市町村関係部局等、小・中学校等が主催する研修会や協議会等への参加

- 各市町のリーディングチーム会議への参加
 - 月1回～年3・4回程度
- 事例検討会 など

7 小・中学校等の教職員に対する研修講師の派遣

<主な研修テーマ>

合理的配慮について
発達障がいについて
自立活動について
ダウン症
弱視・肢体不自由
不登校児童の理解と対応
ユニバーサルデザインを意識した授業づくり
応用行動分析

その他会議等への参加

- 合同LS連絡会
- 実務者会議
- ブロック会議
- 拡大実務者会議
- 支援教育学習会
- LS実践協議会
- 「高等学校支援教育充実事業」支援教育地域支援整備事業 合同協議会

令和4年度 支援教育地域支援整備事業 豊能ブロック 支援教育学習会

<夏の支援教育学習会>
テーマ「はじめてみようコグトレ実践」

<冬の支援教育学習会>
テーマ「HSCの子どもの理解と対応」